京城日報

十九日夕刊

（朝夕刊併せて八頁）

○獨逸の新手段

日本軍の露國に進撃すべき機會を作るに努力す＝獨墺俘虜を西部戰場へ

露國觀測の報道に依れば獨逸は目下聯合國に對し有らゆる手段を弄しつゝあるが就中日本軍が露國に攻め入るべき機會を作るに努めつゝあり蓋し右に就ての獨逸の野心は日露開戰の實現と共に露國を助くるに名を藉りて在露百五十萬の獨墺俘虜を武裝せしめ是を西部戰場に殺到せしめんとの魂膽なりと（哈爾賓電）

○露國復員令發布

戰爭終結宣言に關聯して

トロツキー外相の戰爭終結宣言に關聯して十一日左の復員令發布されたり

一、露國及び中歐同盟國間の戰爭行動は茲に終結せるを以て爾今一切の軍事行動を爲すを得ず

一、戰線に於ける各司令部は第一線より撤兵して一旦之を後方線に集中したる後一般復員計畫に基き國內に歸還せしむべし但し國境守備の爲若干兵を殘留せしむるを要す

一、國民の膏血を絞りて得たる步兵材料及び其他武器裝具は悉く之を國內の倉庫に納むる事を忘るべからず

○輸出入特許細則

近く制定さる

輸出入特許細則は結局日本船舶を大西洋に移さしむるに至るべし尚東洋よりの輸入品たる毛布及び美術品等には特許を與へられざるべし（倫敦電報）

○支那の國會召集

內務部にては近く國會召集を命ずべしと（北京電報）

○商船兩店長異動

大阪商船會社仁川支店長心得として宮島時彥氏を又同社釜山支店長心得として藤山鐵衛氏任命されたり（大阪電報）

○支那交通員出發

既報の如く支那交通部員一行張以下十名は滿鐵社員小田原寅吉氏の案內にて十九日朝六時半奉天發午前中は當地午後は新義州製紙の上午後七時五十分新義州發列車にて京城に向ふ豫定なり（安東特電）

東京より　在京一記者

世界思潮の大勢と我が帝國（六）

○聯合國の執る所は民主々義の名に於てせる軍國主義なりと雖も聯盟國民主々義を聲明して止まざる所以のものは大義名分に於て獨逸の軍國主義を排せむとするが爲め也、中歐同盟國に對して精神的の掣肘を制せむとするが爲め也、左れど露國が聯合國の間に在りて軍國主義帝國主義を支持し來ろ之を以て民主々義を壓迫し之を以て自由を剋殺し輿論を箝制し英佛の如く擧國一致の內閣を組織し國民的戰爭を遂行する能はざりしは聯合國の最大弱點たり最大缺陷たりしなり。

○若し革命前の露國にして軍國主義帝國主義に偏せず異に克く民主々義の潮流に留意し國民の自由を尊重し輿論の趨く所を察し國民と共に國民的政治を行ふの態度に出でしめば『ロマノフ』宮廷は依然として其の權威を保ち假令共產主義者無政府主義者の逆焰を逞うするありと雖も露國は未だ必ずしも今日の如く土崩瓦解の域に陷らざりし也、但だ露國官僚者流は頑固にして一人の達識政治家なく民主々義の大勢を察せず軍國主義を外に善用せずして內に惡用し徒に其の國民を壓迫するに汲々たりしかば露國の內部に浸潤し鬱勃したる各種の社會黨秀しく起て一團と爲り滔々たる革命の大波瀾を爲り忽ち『ロマノフ』朝の顚覆と爲り、一轉してリヴオフの共和的臨時政府と爲り、再轉して、ケレンスキーの獨裁政府と爲り、三轉してレーニンの過激派政府と爲り、極端なる社會主義、極端なる無政府主義を實行し、露國をして深淵の底に投せしめたり、露國廢帝が流謫の地たる西比利のトボルスクに於て臣を會して會議を開く毎に『諸君よ、吾人は總て正直ならざる可らず』と語るを常としたりしが正直は予の大臣等の階級より立去れるを知りたり』と云へりしも遲かりし也。

○勿論レーニン過激派の標榜せる民主々義、民族主義、社會主義は徹底したる主義理想の爲に世界戰爭に反對し軍國主義に反對し帝國主義に反對し資本階級に反對し民主的平和の目的を貫徹せむことを期するは當然なるべしと雖も是れ實に空想の甚しきものにして國家は爲に破壞せられ分裂せらるゝを免れざる也、而して露國民族が國家破壞の後に於て其の空想を自覺するに至るべき乎、將た國家破壞の

●長江一帶の平和熱

揚子江沿岸に平和運動起れり即ち湖北省議會にては十一日夜急遽會議を開きたる結果十二日早朝省議會議長副議長及代表議員は和議請願委員として王督軍を訪問し岳州は元湖南の地なれば南軍之を奪ひたるも更に北進するの意なきに中央政府は一部討伐令を出して岳州を恢復せんとするは自ら事端を滋くせんとするものなり之れが爲め南北決裂して戰局を長引かしむ第一革命以來湖南湖北は屢々兵禍に罹り人民塗炭に苦しむを以て江西江蘇の督軍と共に和議を主張し戰禍を止めんことを求めたり漢口新聞に據れば王督軍も之には滿腔の同意を表し代表者は直ちに北京及び湖南江蘇江西に向つて出發せり而も王督軍の內意として傳ふる所によれば湖北よりは一兵も出すことなく江蘇江西も言を左右に託して出兵を肯んぜざる摸樣なり又問題の張玉爵(?)は結局武昌に上陸したるがこれ討伐軍に加はるを欲せずして王督軍の勢力範圍內に入らんが爲めなりと稱せらる岳州の形勢よりも王、李、陳三督軍に宛て平和解決の希望を通電せる三督軍は未だ回答なしと（東京）

●總督高普巡察

長谷川總督には十九日午後二時參謀長、武官、神田秘書官、藤波通譯官を隨へ京城高等普通學校を巡察せり

●鮮滿の財界と鮮銀

於株主總會美濃部總裁の演說

十八日午後二時より東京銀行集會所に開會せし鮮銀株主總會席上に於ける美濃部鮮銀總裁の演說左の如し

▲朝鮮經濟狀況

大正六年下半季に於ける朝鮮經濟界の大勢は一言を以て云ふときは前季以來の好況を持續し終始略一貫したりと稱することを得べきも之を仔細に觀察するときは其間又多少の浮沈曲折ありしを免れず卽ち當季の前半は恰も夏季に當れるを以て例年の如く諸物資の集散遲緩なりしに加へ一時盛況を呈して朝鮮貿易界を賑したる露國軍需米の輸出も同國に於ける爲替制限の爲一頓挫を來したる矢先內地米價の鈍狀に制せられて頓に穀物界の氣勢を挫き又輸移入品にありては運賃殆んど其極を知らざりし綿絲布の如き商品が市場の休會物價調節令の公布等に依り市價暴落して取引不振の狀を示したり然れども其後半に到りては米穀の出廻矢先に米價俄然奔騰するあり又印度棉の輸入杜絶と米棉の暴騰とは共に內地に於ける暴風雨の被害多く爲に實棉の相場激騰せるより折柄**豐收多産を傳へたる朝鮮棉花の出荷旺盛を極め**北鮮地方に於ては輸出向大豆の高價に刺戟せられ移出多額に上りしのみならず初冬の鰊は非常の豐漁なりし等市況著しく活況を呈したり而して當季末勃興の氣運を示したる**新事業計畫は本季を通じて倍隆盛に趨き其企業會社の新設續出し加之鑛業界亦終始活氣を帶び**從つて鑛產品の騰貴牛皮等の特產品は何れも市價騰貴し輸出引續き多額に上り其他大豆、[illegible]にして出廻多く取引隆盛を極めたり諸港灣等の工事も各地に於ける築港鐵道並に[illegible]に於て濟會線本鐵道の全通を見るに至れる等是亦市況振興の一因たりしを疑はず唯本季間に於て南鮮及び鐵道貨車配給の不足に基く滯貨の著しきものありしは一時[illegible]ける食料品輸入制限の影響に依り[illegible]に至らずと雖も素より大勢を動かすに足らず又季末に於ける米穀の出荷

新鮮銀理事　片山繁雄氏

例年の如く旺ならざりし嫌ありしも之前段述ぶるが如き**財界好況の餘澤を享け農家財力甚だ豐となり其貯藏品を賣り急がざりしに因るものなり**要するに本季中に於ける朝鮮經濟界は產業の開發交通の改善比年進捗の結果と時局に基く直接間接の影響とによりて伸張活躍の狀著しきものありたり轉じて朝鮮貿易の狀況を見るに當季間に於ける普通商品の貿易は輸移出入總額一億六百一萬七千二百七十六圓にして前年同季に比し三千十六萬九千五百四十三圓の增加を示す是は輸移出入各品の騰貴を來せるもの多きに因ると雖も一面又財界の好況と相因緣する者と云ふべし而して輸移出額の四千七百九十七萬五千八百三十三圓に對し輸移入額は五千八百十六萬一千九百三十圓なりしを以て茲に一千六萬一千九百三十圓の入超を見たるも一方に地金銀の出超四百八十二萬一千六十三圓に達するが故に結局純移入超過額は五百二十四萬八百六十七圓に止まれり

朝鮮經濟界の狀況前述の如し從て當季の金融界は全鮮を通じ終始繁忙の狀態を持續し其季末の銀行券發行高の如きは別項に示すが如く未曾有の高額に達したり

▲滿洲の財界

滿洲に於ける本季の財界は頗る波瀾に富み七月支那復辟事件の突發を始とし大連特產物市場に於ける大豆の引渡問題、露國の外國爲替禁止並に其對禁輸政策の實行、極端なる露國留紙幣の低下に加へ澁甚なる銀塊相場の騰落且は米國の食料品に對する輸入制限、南滿大豆の減收、吉林事件の葛藤、船車缺乏の不足、綿系布類の激落等相踵で財界動搖の因を爲し延て特產物取引の澁滯貿易の硬塞、輸入品取引の不振等其打撃こそ少なからざりしも幸にして其影響の及ぼすところ甚だ鮮からざりしも輸出方**面に於ては內地仕向の豆粕と米國筋に對する豆油とは共に甚だ旺盛なりし而已ならず**中北部支那水害地方の注文に對する高粱包米の買付多額に上り加之各特產物は引續き高値に躍れるを以て在滿支那人の購買力を高め從て輸入各品の賣行良好なるものあり此間鮮滿鐵道の合同乃至東洋拓殖株式會社の進出、**流通金券の統一等行はれ**又滿洲に於ても前季に引續き大小事業會社の設立せらるゝもの續出すると共に各地に於ける建築工事亦空前の盛況を呈するものあり彼此相因緣して一般市況甚だ殷賑の狀を顯はし從て各種資金の移動繁忙を以て終始したるに歐洲戰亂以來急激なる發展を爲し來りたる滿洲の財界は當季に入り依然好況を革めず各方面に於て著著堅實なる發達を遂げつゝあるは誠に喜ぶべき現象なりとす（以下朝刊へつゞく）

□薩派出身の三人男

押川長官の逝去と製鐵業の前途　某有力實業家の談

押川製鐵所長官逝去の本社東京電報に付長官に親近せる入京中の某有力實業家は語る、最近に於ける

▲鋼片拂下問題　の紛糾より觀ても押川長官は正しく自盡したのであらう、家人は腦溢血と稱してゐると京日の電報にあるが氏は身體はよく肥つてそして仲々の健啖家ではあるが酒は一滴も口にしない、酒を飮まぬ長官が腦溢血で突如生命を落すと云ふ事はどうも信ぜられないのである、予の知れる限り氏は立派な人格の人であり實際氏は政友會總裁の床次竹次郎大藏次官の市來乙彥の兩氏と共に薩州出身の三人男と稱せられ其の將來を大に囑目されてゐたのに今俄に其の訃に接するのは遺憾である然らば氏の逝去が否が

▲製鐵界　にとり幾許の影響があるかと云ふに恐らく大した事はあるまい、何故ならば氏は大正三年中村現關東都督の後任として製鐵所長官に就任し今日に至つたもので特に製鐵事業に深い造詣を有してゐるとか特殊の手腕を具へてゐると云ふ人ではないからである、唯米鐵禁輸後吾が八幡製鐵所は大に活動の上に民間各種の事業と相呼應して諸工業の進運に伴はねばならぬ夫れに對して押川氏がいかなる名案を抱いてゐたか更に製鐵所は第四期擴張計畫を眼前に有してゐる右に就ても突如長官を失ふ事は損失は損失だらうが次長の服部工學博士以下

▲錚々たる人材　が部內に少くないから豫定の計畫遂行には懸念を要すまい予は繰返して曰ふ押川氏の訃は吾が製鐵界の前途に何等暗影を投するやうな事はあるまいと又氏の自盡の眞因が何にあるかは薬りに臆測する事を憚かるけれど恐らく（一）鋼片拂下問題（二）製鐵所疑獄事件の內容は既に何人も知つてゐるやうに議會で山本代議士等より急追を受け仲小路農相よりは疎外され非常に氏も窮地に落ちてゐたやうである又此上問題が進行して波動の各方面に及ぶのを憂へたのではない乎製鐵所

▲疑獄事件　は昨年からの問題であつて色々の關係上餘り新聞紙上に載らぬが之れは餘程根深い疑獄らしい唯二つの問題共に氏に就て何等醜關係のないであらうと云ふ事は氏の人格上より見て予の公言せんと欲する所である、唯責任の觀念の強い廉潔な古武士の如き氏の性格は之等の問題に對して[illegible]しく責めを感じて世を去つたものであらう何分政府經營の製鐵事業の如きは實に八釜しい困難なものである

●定例長官會議

十九日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き各部局長官、所屬官署長等參集長谷川總督臨席諸般の政務に就き協議する所ありたり

●法院出張所表中改正

地方法院出張所の名稱位置及事務取扱區域表中改正の件は二十日總督府令を以て官報にて發布さるゝ筈なるが右は本年三月一日より黃海道鳳山郡外各道內十七郡又朝鮮不動產登記令の施行に伴ひ各地方法院支廳及び同出張所をして登記事務を取扱はしむるに依るを以てなり

●工業專門校規改正

京城工業專門學校附屬工業傳習所修業年限は從來二箇年の規定なりしも既往の經驗と現今に於ける工業界一般の趨勢とに鑑み此際修業年限を延長し一層技術の習熟を圖るの必要を認め今回修業年限を三箇年と改め四月一日より實施することゝ成れり尙同校規中從來板金工分科を金銀細工分科と改稱したり右府令は二十日總督府官報を以て發布さるべきが同改正令施行の際在學する者に對しては其の卒業に至るまで從前の規定に據ることに定められたりと

●赤十字總會參列

來る五月上旬東京に於て日本赤十字社總會擧行に就ては從來社業上成績良なる朝鮮各支部中の有功者七名を選拔し朝鮮本部より旅費を補給し本部員同伴總會に參列する筈なるが各支部にても該費を案じ委員部事務委員中の有力者に對し總會參列の便宜を圖るべく右に付き在鮮社員有志中參列希望の向は總會其他各所見學等の目的に往復するの便宜を得べしと

●大田監獄敷地

京釜線樞要の地に監獄建設せらるべしとは昨年中より噂せられつゝありしが今般愈々大田市外鉢岩里に敷地一萬五千坪耕地一萬五千坪合計三萬坪の敷地決定せられたり聞く所によれば同監獄は大正七年度より四箇年繼續事業として工事に着手せらるゝ由なるが初年度に於ては小規模の假獄舍を建築し直ちに囚徒を收容し漸次獄舍其他の建物を增築する計畫なりと（大田）

●學校組合新設

扶餘學校組合の新設は本月十三日附を以て認可ありたるが組合區域は忠淸南道扶餘郡扶餘面內十六箇里に亘り居れり

●電氣博と運賃割引

鐵道院にては今春東京上野公園に於て開催する電氣博覽會の出品物に對し運賃の割引をなす事となりしに付朝鮮京管局線にても一定の證票を貼附せる出品物に對しては速達便扱ひ及小荷物扱のものを除き普通運賃二割を低減する由尙ほ割引期間は搬入の際二月五日より四月二十日迄搬出の際五月二十一日より六月二十日迄なりと

●元山經理部廢止

元山に設置しありたる朝鮮駐箚軍經理部元山派出所は同地守備隊の咸興へ引揚とともに其必要なきを以て二月十日閉鎖したり

●改修工事入札

京釜線大田秋風嶺間の鐵道改修工事中未着手の分は伊院永同間なるが右は既に設計豫算等の終結を告げたるを以て本月中に其の工事を請負入札に附すべしと因に白川組の施工大田沃川間も不日入札に附すべしとの噂あるも右は未だ具體的の成案あるにあらず請負工事となすか直營となすかさへ決定し居らず（大田）

●秋山民政長官

秋山青島民政長官は本月廿六日朝來京長谷川總督を訪問敬意を表し一泊廿七日出發大連經由歸任の豫定なる由其筋へ通知ありき

●松永道長官出張

松永京畿道長官は十九日朝開城へ出張卽日歸任せり

●兩警務部長入京期

慶尙北道警務部長より平安南道警務部長に轉任せる服部大佐は廿二日頃入京又其後任として轉任すべき大槻中佐は二十三日頃入京の由

●岡本技師出張

遞信局工務課電氣課長岡本技師は十六日附咸鏡南北兩道へ出張を命ぜられたるが十七日出發したり

●東拓植民課長

東拓京城支店植民課長心得二宮德氏は十五日附心得を除き植民課長となれりと

●故和田博士遺族謝狀

宇佐美內務部長官、關屋學務局長、外數氏發起となり先般若草町曹洞宗別院に於て元仁川觀測所長和田理學博士の追悼法要を營み尙有志者七十餘名よりの香奠を取纏め同博士の遺族に送附したるが其後東京巢鴨町和田勇氏の名に依り鄭重なる挨拶狀到著したりと

人事消息

▲朝倉外茂鐵氏（辯護士）大邱に出張中の處十九日朝歸京
▲上園慎也氏（慶南浦久原所員）十九日朝入京天喜棧へ
▲大垣丈夫氏（京城通信社長）十八日夜歸京
▲望月龍太郎氏（代議士）十八日入京巴城館
▲神野忠武氏（總督府事務官）監獄觀察の爲め內地に出張中の處十六日歸任

彼此

◆露國反過激派將軍中に、其人ありと知られたる、カレーヂン將軍自殺す。彼や既により哥薩克を擁して、虎視眈々、機の乘ずべきを覗ひつゝありしに、其の志を得ず、悲憤遂に死を決せしか、壯心海に憐むに堪へたり。

◆女子は男子に及ばず。と說破せし、碩學スペンサーの所論を、今次の大戰亂に於て、根柢より破壞せし、米國の參政婦人達。今度は全國婦人協風團體の力にて、見事禁酒法をして、議會を通過せしむ。貴郞、きつと一本丈けですよ。と直に妥協の成立する日本婦人の遠く及ぶ處に非ざるも。愈々やられては、大に閉口する者多かるべし。御婦人連以て如何となす。

朝鮮銀行第拾七期決算報告（大正六年下半季）

貸借對照表

科目	金額
資本金	貳〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	[illegible]
發行券	[illegible]
仕拂手形振出高	[illegible]
諸預金	[illegible]
政府貸下金	[illegible]
仕拂爲替手形	[illegible]
借入金	[illegible]
賣爲替ヨリ他店ヘ借	[illegible]
仕拂未濟配當金	[illegible]
松田銀行部ヨリ本支店未達高	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]
拂込未濟資本金	五、〇〇〇、〇〇〇
政府貸上金	[illegible]
定期貸	[illegible]
當座貸	[illegible]
割引手形	[illegible]
荷爲替手形	[illegible]
利付爲替手形	[illegible]
別途貸附金	[illegible]
假拂金	[illegible]
買爲替	[illegible]
公債及債券	[illegible]
他店	[illegible]
松田銀行部ヘ貸	[illegible]
地所建物什器	[illegible]
新外國貨幣	[illegible]
金銀	[illegible]
合計	[illegible]

損益

一金六百六拾六萬[illegible]　損[illegible]
一金參百參拾五萬[illegible]
金八拾九萬九千[illegible]　差引當期純益金
金貳拾參萬七千[illegible]　前期繰越金
合計百拾參萬七千[illegible]

內
金貳拾萬圓　損失補塡準備金
金六萬圓　平均配當準備金
金參萬五千圓　役員賞與金
金貳拾萬圓　交際[illegible]
金六拾參萬五千圓　株主配當金
金拾壹萬九千圓　新株配當金
金參拾萬九千圓　[illegible]配當金
金貳拾九萬參千[illegible]　後期繰越金

右之通候也
大正七年二月

朝鮮銀行
總裁　美濃部俊吉
理事　三島太郎
理事　木村雄次郎
理事　大田三郎

前記各項ノ調査ヲ遂ゲ其正確ナルコトヲ認ム

監事　伊藤長次郎
監事　服部金太郎

十一月一日現行

[illegible]

●押川長官の自殺は鋼片問題に非ず

ハンカチーフに認めたる遺書

◆兵古帯にて縊死◆

八幡製鐵所長官押川則吉氏の自殺の顛末を聞くに十八日朝同邸にては七時半頃夫人愛子(五三)は鹿児島より上京せる令弟黒田寛氏を出迎ふべく東京驛に赴き次女鈴子(一八)三女年子(一七)は女學校に登校し女中二名留守し居りしが主人押川氏は平素七時半頃起床するを例とせるも昨朝に限り八時半頃起床し朝飯を取らず暫くして書齋に入り沈思し居りしが程なく居室に行き居りし模樣なるしに九時半頃に至り湯殿の方に當り怪しき物音聞えたれば女中が駈け付けたるに氏は兵古帯を湯殿の梁に吊るし縊死を遂げ居たるより直に夫人に知らせ醫師を迎へ人工呼吸及び注射等を施したるも其の甲斐なかりき押川長官の死は覺悟の自殺にてハンカチーフに認めたる遺書あり之に依れば鋼片問題に非ず他に餘儀なき事情伏在すれば自殺する旨を認めあり餘儀なき事情とは先般來某方面に於て取調中なる大疑獄に關し職務上の責任を感ずると共に禍の身に及ばん事を恐れ茲に至りたるもの丶如し(東京特電)

▼朝野名士の訪問陸續

貴族院にて臨時閣議を開き自殺原因を法内相より報告

押川長官死去の報傳へらるゝや山本權兵衛伯、上原參謀總長、牧野伸顯男、寺内首相代理兒玉伯、大浦兼武氏、床次竹二郎氏、下岡忠治氏、仲小路農相を始め農商務省各局課長等朝野の名士の訪問引きも切れず一方内閣各大臣は同氏兇死の報を聞くや貴族院大臣室にて十八日午後一時半臨時閣議を開き仲小路農相より自殺の顛末を松室法相、後藤内相より自殺の原因に就て詳細報告したるが其の原因は某疑獄事件に關し最近押川氏夫人の親戚を始め數名の者連坐し近く豫審決定を見んとするに至れるより禍の身に及ばんことを恐れてなりと(東京特電)

●太つ腹で温和な人

▽自殺の噂ある押川長官 「大臣の器」を以つて目された

山口太兵衛氏談

新京城に滯在中の押川製鐵所長官が十八日午前自殺したりとの報は嘗て所長の舊知なる山口太兵衛氏に就て問へば長官と懇意なる同氏は語る

押川長官の郷里は私の郷里と十四五里しか距つて居ない、左右古くから識つたと云ふ譯ではないが御交際を願ふ以前から私が朝鮮に居ると云ふ事は長官も度々人傳に聞いて知つて居られたし、明治三十八年恰度日露戰爭當時長官が

◎朝鮮視察 に來られた際お目に懸つて以來非常に懇意になり其後は東上する毎に必らずお訪ねしたものだ、頗る温和な疾著いた人で、會へば何時でも快く話して下さる、これは私のみでない私は長官を懇意になつてから度々人を紹介したが、長官は始終斯云ふ調子だから紹介して

◎人を紹介 した人々も非常に喜んで居た、尤も長官が朝鮮に來られたのは恰度浪人して閑散な時であつたが朝鮮から歸ると直ぐ山形縣知事になられたが其後熊本縣知事にもなられた

◎行政官として も決して評判は惡くなかつた御承知の通り熊本縣には官有山林の拂下問題など面倒な問題があつて歴代の知事は隨分手古摺つたものであるが、長官は些かも黨派に偏せず温和主義の誠心誠意事に當つたので、流石に五月蠅い

◎熊本童も 誰一人として惡聲を放つ者がなかつた、農商務次官になられたのは確か四十一年頃で、私がお訪ねしたのも此時代が多かつたが、毫しも邊幅を飾らぬ平民的の人で役所への往返にもよくテク付いて居られた、製鐵所長官になられてからは、私は何時も八幡を素通りにして居たから

◎懇ろ機會 もなかつたが長官は温和な衆動の人ばかりでなく其の反面に非常な太つ腹な胆直な處があり金錢にも亦至つて冷淡であつた、だから今度の事件などで個人的には決して批難を受けるやうな人ではないと思ふ、又太つ腹な事にかけては政友會の床次氏あたりと並稱され秘かに

◎大臣の器 を以て目されて居た位だから什麼事があつて自殺する程小心な人でもない、是は矢張り腦充血で本當ではないかと思ふけれども詳報に接しない限りは何とも申上げられない、製鐵所で思ひ出すのは鎮南浦の中村精七郎君だ、中村君が

◎鑛石輸送 を試みたのは八幡製鐵所と契約を結んだのが始めてである、中村君が今日の成功を招いたのは無論同君の手腕にも依るが、鑛石輸送が開運の守り神となつた事も亦爭はれぬ、話しが岐路に這入つたが長官の夫人は確か

◎三島子爵 の姻戚だつたと思ふ、其外好くは覺えぬが姻戚は皆立派な方々で夫人との間に三人のお子さんがあつたと思ふ、自殺が事實とすれば誠に惜しい人を殺したものだ

●女房殺は如何な男であつた

―京城では猫を被つてゐた―

◆河合滿右衛門のこと◆

女房殺し!。其の極惡人は捕へられたそして既に朝鮮の地を離れた然し兇に角昨年五月半ばから去る二月十七日迄京城の土地に暮したる男である、然らば彼の京城生活は什麼風であつたらうか、一度彼が

◆重罪 犯人として檢擧され彼れの罪惡が新聞紙上に現はれても彼を知る近隣の誰彼は只驚きの目を瞠つたそして之れが人違ひであるとさへ噂された、それも無理からぬ話彼が

◆京城 へ流れ込み大和原藥店の世話で葬儀社へ現れた時前の主人は善き壯者よと喜んだ、彼の勤め振りは他に比べて一頭地を拔いでて居た朝は早くから夜は遲く迄身を粉にして働いた、猫を被つて其の

◆罪科 の角を隱す可く最善を竭したそして主人の信用と近隣の評判とはいやが上にも厚きを増して行つたが此處に一つ彼は大きな生理上の缺陥を持つて居た遺憾にも

◆獰惡 性を包み得た彼も性慾の惡魔は執拗に彼を苦しめた、遊郭の門をくゞる事を躊らなかつたけれど彼の手は近所の仕立屋林猷とき(廿五)に及んだ一人では滿足が出來なかつたからに松本みちに延びた

◆惡魔 はみちに滿足したか否やときを切らん爲め僞電報を作製して母の病氣危篤と僞つてときに驛迄見送らせ南大門を出立しようとくゝと彼女を欺き龍山から引返してみちの許に走つた其時警察の手が已の背後に迫るのを知つた彼はみちと手を取り

◆青島 に走る爲め葬儀社からは無理に暇を取り北米倉町愛知舘に泊り込み宿帳へは既に十一日出發の如く記載しみちは路銀を得ん爲めに南山町に居る女郎屋の辻さんに頼み身の代金を受取つて直ぐ樣出發する手筈であつたが

◆天網 恢々逸早く刑事の到著が早かつた、廊下に逃げるを引戻された時彼の血は逆流して性得の獰猛性を現はし『勝手にしろ』の捨台詞と共に

◆最後 の濟闘を二人の刑事と試みたが惡運盡きて今は只極刑の宣告を待つ身となつた憫れむ可きは色情狂の末路である。

●加奈陀モ市大火

グ尼寺に死者百餘

加奈陀モントリオル市に火災起りグレーナンネリー寺院焼失し死者百名に及び四十一個の屍體現場より發見せり(モントリオル電報)

●軍曹の放火殺

人無期

昨年十一月岡山市樋屋町島村初代を殺害し金六百圓を奪ひし後其罪跡を隱さんと被害者宅に放火せし步兵第五十四聯隊軍曹小橋信雄は無期懲役の宣告を受けたり(岡山特電)

●水島商長逝去

水島神戸高等商業學校長は十八日逝去せる由(神戸特電)

●黄塵の街

―化した十九日― 稀らしい暴風

十九日は朝來快霽なりしも正午頃より南の風強く砂塵を卷き揚げて京城市中は殆んど咫尺を辨ぜざる位なりしが右に就き京城測候所員は語つて曰く

十八日夜來北滿洲方面に深厚なる低氣壓發生したるがこの低氣壓は次第に發達して十九日朝長春附近に於て七百五十耗を示すに至れり此頃の季節としては可成り

◆優勢のもの なるが之と同時に支那東南に七百六十八耗の高氣壓出現しこの結果氣壓の傾斜急峻となり南北朝鮮に於て約二十耗の差を生ずるに至れりかくて低氣壓は國境を經て徐々日本海方面へ流れ始めたるが時を經るに從ひ漸次

●強烈の度を 加へ來 十九日未明には元山江原道方面の各地共強風の吹き荒みたるも正午頃よりは京城も強風のお見舞を受くるに至り午後一時の觀測によれば京城の風速は一秒間十二米突八(廿九哩)一時以後同四十分迄の間に一秒間十六米突(三十六哩)を示し完ら

◆強風の絶頂 に達したるの觀ありき京城としては稀有の強風にして砂塵を捲き揚げしは近來降雨少なく大地乾燥せるが爲めなるが低氣壓は引續き日本海方面へ逃走しつゝあれば決して斯る天候は永續せざるべく多分二十日あたりより復舊するに至るべし

●乳母至急入用

身體强壯にして血統正しく性質溫順なる方年齡廿歳前後迄京仁通勤希望者は左記へ來談あれかし

仁川本町 奥田

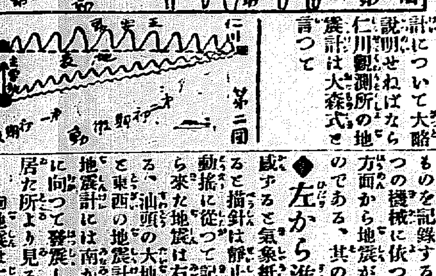
●微妙な地震計(二)

◇汕頭附近の震央地が的確に觀測された

地震は今度起つた汕頭の地震のやうな遠地地震になると第一圖の如く先づ第一初期微動第二初期微動から主要動に移り之が衰へて終期微動を記象するものである(記象紙は煤煙で燻した黑い紙で之を地震計に取付けてある記象圓筒に捲きつけ震動に從つて指針で白い記錄を搦くもので幅一尺二寸長二尺五六寸ある)一體地震は此の初期微動も主要動も一時に發するのであるが振幅の大小に依つて其の傳波に遲速を生ずるから震央地附近では記錄を見ても何等區別されないが、仁川汕頭間の如く千哩以上の遠距離になると其の分離の度が甚しくなつて第一初期微動が記錄されてから後約二分も經て第二初期微動が感じた程である第二圖に示す如く

◎地殼の一部に變化が起ると第一と第二の初期微動は地殼の內部を一直線に進んで來るが主要動は垂直點に進んだ後更に地殼の表面に大波動を與へつゝ然も固い地盤があると遠廻りしながら傳つて來るから距離が遠ければ遠い程遲れる理で、震源地の距離の觀測は此の時間の差を見て一定の方程式にて計算すれば解つてゐる、偖て震源地の距離が解るやうになつても

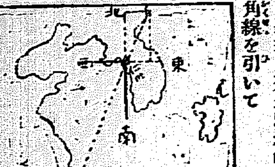
◆大體の事 であるを次は方角を觀測するのであるが其の觀測の方法を說く前に地震計について大略說明せねばならぬ仁川觀測所の地震計は大森式を改良になつたもので



◎大森博士の工夫 になつたもので記錄される二つの機械がある、其の地震の震動が二十倍と百五十倍に記錄される二つの機械がある、其の中二十倍の機械は東西に震るものを百五十倍の方は南北に震動するものを記錄するのであつて此の二つの機械に依つて東西南北何れの方面から地震が來たかを測定するのである、其の方法は地震計が

◆左から進 んで來た地震を感ずると氣象紙も又左に動く、すると描針は靜止のまゝで氣象紙の動搖に從つて記錄するから、左から來た地震は右に向つて記錄される、汕頭の大地震の記象紙を見ると東西の地震計には西から南北の地震計には南から各々反對の方向に向つて發震した事が記象されて居た所より見ると

◎地震は仁川の西南 方面に起つたものなるが窺はれる、次に正確な方角を知らうとするには第三圖の如く地圖上に觀測地たる仁川を中心として東西南北に方位を書き東西の氣象紙に記錄された發震點の波動の長さ假に二とすと南北氣象紙の同じ波動の長さ(假に三とす)の比例を取り此に隨つて北と東の方向に向つて圖の如く點線を引き更らに北の點線の交叉點が中心に向つて對角線を引いて



◆延長する と西南を指す玆に於て與に算出した震源地の距離二千粁を此の線に從つて測つて行くと指頭は汕頭附近に於て止まる地震觀測は斯くして千里の彼方の地震をも觀測するのである

讀者文藝(一等には五十錢二等には五十錢の郵便切手を進呈す)

○輕業師(一等) 京城南大門通り三丁目 加藤勝正

○坂めぐ

▲佳作 信用されよ 京城旭町 大和町 岩淵 宮部源次郎 櫻井町

次回課題

●訂誤 十九日朝刊三面鮮銀紙幣低落云々の記事中五十錢紙幣は五十錢紙幣の誤植に付き正誤す

商況

東京期米特電

十九日前場 二月限 二十五圓五十錢 四十九錢

兵庫期米

十九日前場 二十五圓 十五錢 五十九錢

大阪三品特電

大阪株式特電

大阪期米特電

下關期米特電

十九日前場 晴 買氣強き手配 と値頃氣安

雜報

●三品は先高 入電は當限三百二十四圓と昨前場に比し大差なきも先限は三百二十二圓九十五錢に上りたり

●銘十圓五十五錢四圓高

●小麥更に活況 製粉高及び醸造家等に近來漸次増加しつゝある小麥は昨今更に有力なる買進み

●又々二三十錢方 氣配引締まれり

●形跡高ければ相場の昂騰を促す一段

●大豆更に活況

●約二十錢高

十四圓五十錢に相當

株式會社仁川米豆取引所仲買人

全 髙田仲買店

仁川海岸町 電略「タツ」 電話長一〇〇 一九

●營業案内 ●商品御注文は 稍分な不要候 證據金壹百石に付 金壹百圓

●和紙益々强硬

●土佐紙の類躍 進的昂騰

●一層氣配の引締

●水飴更に昂騰 二十錢方の値上

下關相場

●朝鮮米(底圍)

叺繩莚 殼物 叺 繩 莚 其他 大和町二丁目 箕浦商店 長電話五三

●石油値上げ 二十五錢方の値上發表

●機械油は更に二十錢高の報

●高分現状の儘

●揮發油

●北鮮澱粉引下 値を實行

●十二圓五十錢に引下

生魚市場

仁川期米

▲十九日前場 保合

▲大阪天候晴天

八十錢と五錢安

先二十一圓

仁川正米

京城正米

南大門の廻穀

釜山穀物(十八日)

▲正米(安保合)

一、二十錢高

仁川米豆取引所仲買人 仁川本町三丁目 三巴仲買店 電話長二一二・二一二番

仁川米豆取引所

十九日の四月限

●變化 說に外なら今の態度

●迷人氣は稍氣

●區域は全道一帶にて報は風強

市場雜觀

●押に頭重き依然保合の

小賣白米

現金 一等白米 二十四錢五厘

▲十九日前場 大阪強からざる入電にて中二十一圓五十七錢より六錢先八十三錢と一

●此頃の哈爾賓

ホルワット長官の板挾み　獨逸商品襲來は商民の大敵

露西亞ドルジナ大隊の解散後ホルワット東支鐵道長官は舊兵を以て之に充つる計畫を立て募兵に着手せるが、兵士の應募者は豫想の十分の一にも當らず又之に反して其の應募者は定員に倍せる有樣にて目下行き惱み居れり。其の原因は應募者は解散後として平常の位置を保ち居たりしものが

▲解散後零落して　衣食に窮する者さへあり、又在來後備將校として同地に居住し居たりしものは此の期に際して何等か目豎ける者なるが故に奮の成功を目豎ける者なるが故に如上の成績を現はし、總て兵士の應募成績の不結果に陷りしは現在浮浪の境に在りと雖も彼等は元來實純なる生活に身心慣れ居たるが故に過去の境地に還つて物價高の現在に不良なる食物を得て規律生活に戻るを好まざるに因するが如し而してホルワット長官の現在の立場は甚だ不利なるものにて今や支那兵を得て過激派を制したる迄はよかりしかど

▲其後支那官憲の　同地露人に對する態度は極めて橫暴なれば、一般露人は事態を此處に到らしめし罪をホルワット長官に問はんとする者多く、同氏が目下露人間に於ける信用は殆んど絕無なりと云ふて可なり。然るに支那官憲の其後のホルワット長官に對する態度は又極めて甚だ切らず、兩者の間は日々疎隔を免れざる傾向あれば、今回の募兵不結果は

▲支那官憲の抗議　に由る所少からずとなす者もあり、就中ホルワット長官は目下挾みとなり居れり而して哈爾賓の一般商業界は各種商人が各々其の甲乙の觀察をなす者多く其甲乙の差甚だしきため、兇れを捕捉するに難く、又實際に同市の現在は樂觀論者、悲觀論者共に多少の正鵠なる材料を得る能はざる程度に四方の情勢は混亂し居れり就中

▲獨逸商品が迅速　なる勢を以て東漸し來りつゝあるは最早一點疑ふの餘地なきまで正確なる事實となり、既に電報したる如く石油、靴等は非常なる安價を以てイルクツク、チタ方面に迄販路を得來りて、既に滿洲里國境を越ゆるも遠き將來には非ずと察する者多し、先般の滿洲里、ポクラニイチヤナの東西國境輸送禁止後哈市商人の唯一の希望は此の兩關の解禁にありて、現在哈市の商品中には該禁止令施行後捌け口を失ひて著しき下落をなせるものも少なからざるにも拘はらず

▲解禁見越しにて　持越しをなし居れる者多く、兩關の解禁は漸く曙光明るみたるが如き今日となりて當地は此の需望を多少實現すべき獨逸商品の襲來とあつては、輸送解禁と異り、待ちて好むの明くものに非ざれば哈市商人にとりて最大の敵は獨逸商品の來襲にして然も近く接戰を見るや明らかなれば此の鬪ひは將來の見物なるべし

●滿鐵植民教育

滿鐵會社教育研究所にては本年四月より內地各府縣より師範學校卒業生にして成績優良體格强健なる上に植民教育に充分の趣味を有し更に少なくも內地に於て二三年の實地教育の任に當りたる教員二十名の推薦方を府縣當局に依賴し置きしが來る四月一日より此等教員を大連西亞町滿鐵教育研究所に入所せしめ植民教育に必須なる特別なる支那語、東洋歷史、天然地理、博物、化學、理科、手工等の各科に就き一箇年の講習を施し完全なる植民地教育家を養成する筈なるが該教員に對する給與は內地奉職の給料の六割增を給與したる上每年二回本俸二箇月分づゝの賞與金を支給する上に別に住宅料を給する規定なるが養成所入所中は學生待遇として月二十五圓宛の手當を給すべしとの事なり

●各地撫順炭價

撫順炭の滿洲各地に至る一噸當り鐵道運賃は左の如しと

驛名	運賃	驛名	運賃
大連	二、一六	金州	一、九八
營口	一、七六	瓦房店	一、六二
旅順	二、三五	熊岳城	一、二六
蓋平	一、一〇	大石橋	〇、九五
海城	〇、七九	遼陽	〇、五〇
蘇家屯	〇、二五	奉天	〇、三三
鐵嶺	〇、六八	開原	〇、八五
昌圖	一、〇〇	雙廟子	一、一三
四平街	一、二七	公主嶺	一、五四
范家屯	一、七〇	長春	一、八四
本溪湖	〇、五一	連山關	〇、七五
雞冠山	一、二〇	安東	一、五〇

又朝鮮各地へ新義州よりの運賃は左の通りにして此の中には無論鴨綠江渡橋料を要する手數料をも含み居れり

驛名	運賃	驛名	運賃
宜川	一、四三	定州	一、三〇
新義州	一、四三	肅川	一、六〇
順安	一、八三	平壤	二、〇四
黃州	二、三四	沙里院	二、五三
新幕	二、六三	金郊	二、〇三
開城	二、六八	長湍	二、六八
南大門	二、七八	永登浦	二、七九
始興	二、八四	水原	二、九七
天安	三、二六	鳥致院	三、四三
大田	三、四三	永同	三、六六
金泉	三、八七	大邱	四、一六
慶山	四、二四	淸道	四、三五
密陽	四、四八	三浪津	四、四八
[illegible]浦	四、七〇	釜山	四、七九
昌原	四、七一	馬山	四、七五
鎭南浦	二、〇八	兼二浦	二、四六
仁川	二、九五	[illegible]川	三、一六
鐵原	三、二八	秋風嶺	三、三三
元山	三、一一	連山	三、六三
江景	三、七三	論山	三、六八
金堤	三、九五	裡里	三、八七
長城	四、二六	井邑	四、八
木浦	四、七二	羅州	四、四四
群山	三、九九		

●開通せる四鄭鐵道

◇同鐵道技師長藤根壽吉氏談◇

■信號機　は腕形信號柱を據內兩端に設け主要轉轍器亦標識を具へ凡て滿鐵と其の規を一にす而して線開閉機等必要を察し夫々之を具備せしむ

■滿鐵本線との連絡　滿鐵四平街驛本屋を改造し四鄭鐵路四平街驛を併置し一屋を共同使用の事とす旅客乘降場は滿鐵線乘降場に接し之を設け以て乘客乘換の便を圖り貨物は主として滿鐵貨物取扱所內に於て取扱ひ彼我相扶け以て連絡運輸の圓滑施行を期する事とす

■機關車と車輛　機關車客車貨車等之を滿鐵より借入れ一定の貸率を協定して使用料を支拂ふ事とし時局車輛を新造するの困難を免れ得たるのみならず資本の固定を防ぎ且必要に應じ直に之を使用し得べく本鐵道直接の利益多大なりとす加之滿鐵との聯絡運輸をなすの點に於て之に過ぐるものなし

■營業開始　營業開始に就ては國際的關係上滿鐵との連絡輸送其他條文的に協定するの要あるを以て尙若干の時日を要せざるべからず依つて建築列車の餘力を以て貨客の輸送を開始し一般便益を圖ると共に出貨促進の方途に出で以て營業開始期に至る過度の便法とせり由來滿蒙の鐵道は現實の物資を唯一の目途となすにあらずして鐵道敷設によつて諸般開發を促進し由つて以て鐵道の收利を期すべき事論を待たず今や四鄭鐵路は全線開通後僅に二旬に滿たず且つ建築列車の餘力に待つ姑息的の營業にして一般要求の大部分を滿たす能はざるも尙一日一哩十五圓の收入を下らず恰も安奉線開通數年後の收入に等しく新線開始の『スタート』として聊か將來の多望をトせざるを得ず況んや西に東蒙未開の寶藏を控へ拓殖開發の氣運勃々さに旺盛なるもののあるに於て益々本鐵路の健全なる發達を所期して止まざるものなり

■從事員　建設工事從事員として日人之に當るもの少しとせざるも是れ工事の堅實と速成を企つるの暫行的現象にして建設終了と共に漸次其の數を減じ他日純營業期に至らば借款契約上の主腦者を除き僅々數名の日人を以て專ら指導的要職に當らしめ他は凡て華人にして事足るべく今や營業方面從事員の養成に急なるあり

●安東と建物會社

安東に於ける建物會社創立の議は各方面に於て擴大に熱し兩三回有志者の集會を見たるが其の席上に於て發起者の選定及び創立事務に關しては專ら式村中野兩氏の意見に從ふべく決定したるが爾來式村氏は內地旅行中又中野氏は大連旅行其の他の用務多忙にて是れ等の規定は今尙ほ確定せざるが本月二十日前後には式村氏も歸安すべければ其の際兩者會見の上決定を見るべき筈なるが別項記載の如く東省實業公司の創立に伴ひ安東方面に支店若くは出張所の設置を見る場合ともならば此の際諸種の事情を參酌して建物會社の創立は當分の間見合せらるゝに至るやも計られざるが如し

●京畿出席劍士

來る三月七日憲兵隊司令部道場に於て開催の全道憲警武術大會に京畿道管內より出場すべき劍士左の如し

▲憲兵隊本部村田巽一▲鍾路警察署香村幸助▲本町警察署……永島義高、小川哲之……田丸盛二、飛田林吉……井上久吉、岡正富……▲龍山分隊……島保之丞

●平壤に出張所設置　並に貯炭場計畫

南滿洲鐵道株式會社鑛業課の本年即ち大正七年度の撫順炭採炭量は二百五十萬噸にして其中七十五萬噸滿洲發賣、五十萬噸滿鐵社用、二十五萬噸朝鮮鐵道專用、二十五萬噸朝鮮各地發賣、三十萬噸……十五萬噸朝鮮鐵道院專用、五十萬噸豫備の計畫なるが之れと同時に平壤に滿鐵鑛業課出張所並に貯炭場を設置すべく目下着々其計畫進行中にあり

●立山市街地貸下

立山新市街地の貸下げに就いては多數の希望者に對し、滿鐵にては同地の將來、また大連市が土地の缺乏に苦しめる現狀に鑑みて成るべく土地の平衡を得しむるべく考慮を費しつゝありしが愈よ近き中に其の方針を決定し本月中には一般に之を發表するを得るに至る可しと

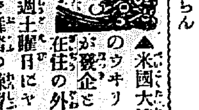
●四平街片信

▲都督府經理部長巡視　關東都督府梶塚經理部長は經理事務視察の途にありしが昨日南方より來着旅館に投宿し十四日朝四鄭線にて鄭家屯視察の途につく▲岸本出張所長挨拶　朝鮮銀行鄭家屯出張所長岸本德三郎氏は同地家屋修繕工事を俟つて赴任すべく其迄四平街に滯在中なるが工事大に進工せるを以て十五日當地を出發する事に決定したるを以て鄭家屯に於ける諸般の關係を有する各官公署へ挨拶の爲め本日伊藤當地所長の案內にて歷訪せり▲四銀登記　四平街銀行設立認可後直ちに株式拂込をなし登記を了り只營業認可の到着を俟つのみなれば遲くも本月末迄には營業開始する運となるべし▲金融界閑散　朝鮮銀行出張所は舊正二日間休業し十三日より執務せるも支那人の習慣として舊十五日頃迄殆んど取引休止の狀態なれば極めて閑散を告げ只同業者間と特種の取引行はるゝのみなり（十四日）

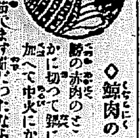
▲氣象豫報（二十日午前十時）▲滿洲北部七五二ミリ▲風强かるべし▲進行方向東南東▲咸鏡北道

●大連より

●滿洲は土地柄が土地柄だけに種々の懸案宿題あり日支間のみならず日本側のみにても相當にあり關東州土地問題の如きも其一なりしが今回都督府の公布したる官有地貸與規則はこの多年の懸案たる土地問題に一解決を下さんとする前提たるは爭ふべからず●然るに此の官有地貸與規則なるものは上京中の宮尾民政長官が或方面と交涉熟議の上立案したるものゝ由にて當地方の民政部當局者は殆んど之れに與からざるものゝ如く且其の規定僅かに全文十八條より成り大體の方針を示したるに過ぎざるを以て其の適用の範圍如何に就いて諸說紛々たり●或者は此の規則を以て現貸下地の豫定地、未貸下地たる沙河口小崗子間の空地に限り適用せらるべきものと認め居るも或者は現貸下地たる旅大の市街地にも當然適用せらるべしと解釋し居れり左れど皆是れ推測說にして立案者の眞意は未だ明かならざるなり●若し市街地も等しく貸與に附せらるゝものとせば借地權は如何になり行くべき乎といふに元來州內の官有地貸下には種々なる條件を附せられありて官廳の都合に依り何時にても其の借地を返還せしめ得ることになり居れば貸與の必要生じたる場合には一旦その借地權を返還せしむるか又は借地人に競賣上或る程度の優先權を與ふれば可なるべしとの說をなす者もあり借地權は極めて簡單なる土地貸與規則により重大なる土地問題を一擧に解決するが如き事はあるまじく要するに亦た爲し難き事なるべし●官有地貸與規則が如何に適用せらるゝにもせよ多年の懸案たる關東州の土地問題が之より解決の幕に入らんとするは疑ふべからざる事にして貸與法及び其の施行細則の發布と共に著々官有地の拂下げ行はれ土地所有權こゝに確認せられ關東州內の日支人はその所有權を得たる土地を東拓に提供して比較的長期低利の資金を融通し得べくその利便を享くること少からざるは言ふ迄もなき事なり●唯憂へられつゝあるは土地兼併と土地投機熱の橫流となるが官有地制度の今日にても借地權の賣買は盛んに行はれ兼併も土地熱も相當に流行するを以て絕對に之を防止するは至難ならん併し事前にその防止策を立つるは爲政當局の任務にして彼の土地增價稅なり其他の方法に依り當局に於て按排措置すべきは無論ならん



▲米國大連駐在領事ウヰリヤムソン氏が發企となつて大連在住の外人の男女二十餘名每週土曜日にヤマトホテルの舞踏室で舞踏の練習會を開く事となつた▲この爲めヤマトホテルではワザ〳〵舞踏室の改造を行つて練習會は午後十二時頃から翌午前の三四時頃までである▲却々たつしやの舞踏家が居つて盛んな事であるそうだそれと共にマアいろ〳〵の遊びも行はれひどく景氣がいゝそうだ▲舞踏連の仲間には酒豪の多い事は怪しむに足らぬが或る外人なぞは醉ふと硝子コップをガリ〳〵と喰べて終ふそうだ▲人口四萬內外の大連で一ケ月の遊興費が三十萬圓平均も懸ると云ふが其の反面に犯罪數の多いにも亦驚かざるを得ない▲なんでも一月中に大連警察署で取扱つた犯罪件數は五百八十二件で一日平均二十件あると云ふ事だ此の內最も多いのは窃盜の三百十八件だそうだ



◇鯨肉の佃煮◇

鯨の赤肉のところを薄く細かに切つて鍋に入れ熱湯を加へて中火にかけ煮立つてきましたら箸で交ぜながら煮てアクを取り又水へ取つて冷くなつたら水を切り再び鍋に戻し肉一斤につき味醂二合醤油二合ほどの割で加へ、薄く切つた古生姜をかきまぜながら長く煮込み汁が煮つまつたならば火からおろします若し鯨が鹽のつたら水にひたして少し鹽氣をぬきゝれでおあげればよろしいのです

强胃消化錠 マーゲン
本舖 大阪市 田畑保藥房
特約店 京城南大門通二 新井藥房

かぜねつに一番よくきく キナピリン
●キナピリンは●感冒●熱病●頭痛●インフルエンザ●リウマチス●間歇熱（マラリヤ）等に大効あり
（定價）十包入拾五錢 廿包入三十錢 （價）十五包入五十錢 三十二包入壹圓
本舖 大阪市堂島元船橋 高橋盛大堂藥局
發賣 同 心齋橋博勞町 高橋盛大堂分店
◎各地到る處の藥店に販賣す

生活難を忘れる 良職業
高尚有利の事業也今回大に地方支部長を募集す返信料參錢相添へ至急申込べし直に採用し規定書を送る
東京市芝區愛宕町二丁目十四番地 帝國法律普及會

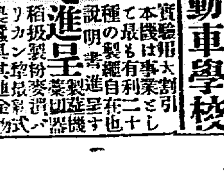
紳士の頭髮を飾る
高等煉香油
二葉ポマード
大阪久寶寺町 化粧品問屋 角倉支店

謹告
生儀篤志者中の處去る十七日歸院し從前の通り櫻井町（電話二七〇番）にて專心醫業に從事す
池上醫院 池上要吉

陸軍拂下 並に諸官衙拂下品
襦袢、袴下、靴下、手袋、被服一切
京城府黃金町三丁目 電話一三六番
佐藤古着店

看護婦募集
規則書御申越次第送る當地迄旅費支給す
大連市西公園町三六 電話三〇八
遼東看護婦會

至急募集
本年卒業生は自動車運轉手技師販賣員等に招聘多く不足甚し今回何人をも入學を許し
修業短期 費用僅少 自動車界へ就職紹介
東京新宿 日本自動車學校



實驗利用 本機は事業として最も有利也 種々の製繩自在 説明書進呈
稻扱製粉麥搗の機械 農蠶具其他一切 價表送呈す
東京本所長崎町一六 日本發明獎勵會

謹告
本社取扱に係る勸業及貯蓄債券賦金拂込者にして大正七年二月一日新券第六十七回抽籤にて一二等割增金付に當籤せられたる各位左の如し本社は模範的貯蓄家として特に芳名を揭げ併せて謹告す
大正七年二月一日
東京市日本橋區坂本町十九番地 東京勸業株式會社
社長子爵 中園繁若
電話 浪花 振替東京

當籤者芳名
金貳千圓 下關市豐前田町 兒島林吉殿
金壹百圓 長野縣下伊那郡 秦淸彥殿
金壹百圓 旭川區六條通り五丁目 芦田鶴治殿
金壹百圓 石狩國夕張郡由仁村 內田吉高殿
金壹百圓 札幌區苗穗町 豐岡淸藏殿
金壹百圓 熊本縣上益城郡 小林太平次殿
金壹百圓 靑島 和田三郎殿
金壹百圓 三重縣 山口茂雄殿
金壹百圓 山形縣最上郡 松澤トモ殿

品質の純良は內地品を壓倒し賣價の低廉は需要を喚起す
粉 栗 片 （A印）
元山本町 熱田商會
京城代理店 京城南大門驛前 松原運送店
左記特約店に於いて販賣致候間何卒御用命被仰付度願上候
今般小店共義熱田商會と特約致し一手販賣引受候間御注文願上候
（特約店）
京城南米倉町 池尻商店
京城南米倉町市場 辻本商店
京城南大門通二丁目 上田商店
京城南米倉町 柳井商店

眼科專門 入院隨意
京城明治町東拓横 江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

イケダ小兒病內科醫院
京城二越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話
池田季雄

謝罪廣告

私儀貴社のAジンクペイントの廢罐に他の製品を詰め込み之を貴社のAジンクペイント也と稱しイヅミヤ商店永田儀助に賣渡し永田は之を鍾紡京都支店へ納付せしに其事實發覺致直ちに刑に處せらるべきの處特に今回に限り御寬恕被下難有奉謝候向後決して斯樣の不心得致間敷茲に謝罪仕候也

大阪市西區北堀江一番町四〇
岸本商店 唐登賢三郎
日本ペイント製造株式會社 御中

石版彩色刷
春季 種苗代價表 （無代進呈）
東京 日本種苗株式會社

今般全鮮巡遊後直に歐洲漫遊に付き左の條件資格者二名招聘す
一、出處學歷境遇如何を問ず姿は白日靑天の下に堂々濶步俯仰天地に耻じざるもの
一、强軀にして古武士的道念を有し劍柔何れにか特能を有する俠骨凌々たるもの
一、英漢二學に蘊蓄趣味を有するもの
右自信資格希望者來談
京城本町 山本旅館滯在中
運命豫言者 美馬天地眼

左甚五郎

第百七十三席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

名月や鏡の裏は天下一、甚五郎は鏡を持つて親子の者に對ひ 甚『此の鏡は大明國より渡つた物だから此の鏡を持つて居た婦人と云ふのは高位の方の娘であらう、其處の者が持つべき鏡で無いな 十『私も然う思ひまして諸方を探しましたが何分にも知れません 甚『鏡は女の魂、さしてある簪此の人形の懐中へ入れて置いたら必ず女の魂を現はすに違ひない、家には俺が精魂を籠めて彫上げた人形である故、其の容顔を現はすであらう」と聞いて十三郎は其の鏡を人形の懐中へ入れ三四人の女中を附けて置きまする、夜は自分の傍へ寝かすといふ様な始末、不思議なことには鏡を入れずに置くと偶人形、鏡を懐中へ入れると自然手足も動かになつて何となく女の情を現はします、さア是が評判となりまして我も彼もと人形を見に參ります、浪花屋では自慢をして人々に是れを見せる、内に祇園の祭禮がありましたが、京都でも加茂の祭り祇園祭りと來ると大したものでございます、山車が出來る踊屋臺は勿論作り庭なぞが出來まして大騷ぎであつた、祭りがしまつて後勘定といふので料理屋へ集つたのは呉服屋の丸屋太兵衛、近江屋長左衛門、藥種屋の小西屋吉十郎是等は京都でも有名の町人、皆倅に家督を譲つて隱居でございますが、勘定の後で酒が出ると藝妓を呼べの幇間を呼べのと云ふので大愉快。○『何うだね近江屋、今夜島原へ遊びに行かうではないか 近『宜から偶には職伸しもしなければならない」と云ふので年寄連中島原の桔梗屋といふ家へ遊びに參りました、何れも老人で色氣が無いから藝妓に三味線を彈せ唄ふやら踊るやら大騷ぎ、中にも近江屋長左衛門素裸體になつて踊つて居る、相方の者には若容の館へ來て取持ちをして居りますが、其の中でも桔梗屋の小浪と云つて一寂年下だが、此の女が酷に美しい、何うやら其の顔が彼の人形に能く似て居ります 丸『何うだね吉さんあの小浪といふ女は美い女だが彼手者に能く似て居るじやアないか 吉『何だね彼手者とは 吉『ウムあの甚五郎といふ彫物師が拵へた人形か、成程能く似て居る 丸『長左衛門は爺のくせに美い女を貰ひむこい羨ましい』俺の相方なぞは見られたものじやアねね 吉『愚痴を云ひなさんな、抽籤で極めたのだから仕方が無い』と話しをして居るのを小浪が聞いて 小『あのお客様、妾が人形に似て居るといふのは何のことでございます 吉『其の人形といふのは怎うい譯だ、俺共の同商賣で浪花屋十右衛門といふ者がある、其の一人息子で十三郎といふ者が黑谷へ花見に行つた時、一人の美人を見染めたのだ、なれども何處の者だか判らないので、彫物師の甚五郎といふ者に頼んで其の女の通りに人形を拵へて貰つたのだ 小『オヤ然うでございますか 吉『スルと十三郎の病氣も撫つて且暮其の人形を側に置いて愛して居るが、其の人形にお前の顔が似て居ると云つたのだ 小『其の人形を見たいものでございますが何うか見せては下さいますまいか 吉『行つて見る分には雜作も無い、一緒に伴れて行つて見せて遣らう 小『何うぞお願ひ申します 吉『オイ近江屋、踊つて居る處では無い此處へ來なさい 近『何だね 吉『何だじやアない此處に居る小浪が人形を見せに伴れて行つてくれと云ふのだが、お前の相方だから伴れて行つて遣るが宜い 近『冗談云つちやア可けねね、年を老つて居て倅の前へ對しても女郎なぞを引張つて歩けるかね」と近江屋長左衛門が立腹いたしました。

妾しや木村屋
ねしや山邑よ
背黨辛棄の新世帯
(京城明治町 電二八七〇)ね

曆

二月廿一日 九星
舊正月十一日 己亥
本命六白 乾納大安

▲六白 [illegible] ▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黑 [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四綠 [illegible] ▲五黃 [illegible]

タンセキに不思議な効ある
呼吸器散
呼吸器丸

本劑の特長
本劑は最新高貴藥を配伍せる祛痰鎭咳の特効藥にして如何に重き患者にても服用せばタンを祛りセキを鎭め胸苦きを和らげ夜分安眠の効を奏す。先づ一週分試みよ

かゝる時に偉効あり
●息苦しく胸痛む時
●咳出て夜眠られぬ時
●たんに血の混る時
●痰涸れ出でざる時
●のんど腫れ痛む時
●たんせき切れ難き時

價十錢、二十錢、四十五錢
全國到る處の藥店にあり
本舖 大阪心齋橋 東京[illegible] 丹平商會藥房

京染 吳服
京都 たまや出張店
京城本町四丁目 電話一二八六

演藝案内

壽館 京城本町 電話一〇五〇
[illegible]
會我廼家第二蝶々會一行 笑劇 樂世會一座合同一行
二月十九日替り狂言
▲一番目 コミーション 二
▲二番目 東見物 三
▲三番目 水害 三
▲四番目 文人の手踊 數

黄金館 電話二二六三七・二二六六
[illegible]

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番
毎夜六時より開演
京阪落語若手一座
笑三(遊玉)一落語、手踊
音曲(花輔)一落語
浪花節(淡月)一落語、手踊(歌六)
一大切喜劇(物思出)

有樂館
早川演藝部直營 活動寫眞常設館
[illegible]

大正館 黄金町 電話八七三
[illegible]

寫眞製版
京城日報社寫眞製版部
寫眞銅版、亞鉛版 [illegible]

月やく
[illegible]
大阪東區東雲町停留所前 いづみ屋

ルーデサック 特製品
十個四十錢 B十個六十錢 女用一個八十錢 五十錢 △月經帶一個七十五錢 廿個以上一割引 郵券代用 増製送料
振替京城三二一七番
京城黄金町三 山田文殊堂藥房

淋病新藥
ゴノチール
●極メテ合理的ニ創製セラレ後ノ危險ナル洗滌等ノ要セズ單ニ本劑ノ内服ニ依リ淋病、痳疾、尿道炎、等ノ泌尿器疾患ニ對シ容易ク治療ノ目的ヲ達シ得ル最モ卓越セル新劑ナリ
●各地有名藥店ニアリ●
●説明書ハ現品ニ添附ス●
一容量 三十錠入 六十錠入 百錠入
發賣元 大阪市道修町 藥品問屋 西村藥林社
電本局二四九一 振替大阪七五九〇番

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千貳百貳拾萬圓
總預金 貳億貳千六百萬圓
株式會社 第一銀行 京城支店
支配人 西村道彦
京城府本町二丁目(振替貯金口座京城一番 電話六二番 三一一七番)

嬉しいと思召す事四つ

學校へ御通學の御愛孃とも〲

餘所のお家を御訪問なさいふ場合の學校には御勉強でも未だお化粧の方には平生餘りお構ひのない方々は、中々お化粧が美しく出來ませんね。これは顔の地肌がお化粧馴れしてゐないからで、全く無理のない事ですが、然ういふ場合に白色美顔水をお用ひになれば、誠に勞なくすら〲と、美しい、品のよいお化粧が出來ます。それから

汽車の時間等が迫つて大急ぎと

いふ様な時、または御主人が外から御歸宅になると其儘「さあ直ぐ一緒に出かけよう。」と洋服も脱がずに仰在る様な場合、其他何にしても斯うしたお急ぎの時などには得てお化粧も變な工合になり度がるものですが、そこを白色美顔水をーすお用ひになりますと、狼狽る必要もなく、直ぐに充分美しい整つたお化粧が出來るのです次に

吹出物やにきびまた顔色の工合

で何う骨を折つて見てもお化粧が思はしくなく、斑になり又變な色澤になり、濃く附ければ又白ペンキの様で、如何しても工合が悪いこいふ様な場合、白色美顔水でお化粧をなされば、これは又何の勞もなく、すら〲と行遍つて、誠に自然生れつきの色白かと見違へるばかり、すつきりと、高尚な、美しい〲お化粧ぶりを發揮しますのです。それから又

肌地の荒い方脂の多過ぎる方

これは丁度反對の方々ではありますが、お化粧が美く出來ぬ事は一緒であります。此方々は白色美顔水を常用なされば、毎も氣持よく、勞なく、美しいお化粧が出來るといふお喜びに加へて、肌理は次第に滑かに美しくなり、素顔の美しさを添へる一方、脂の多い方は其爲めに出易い吹出物なども出なくなるといふ、一寸反對した兩方によい成分を、此化粧料に含んでゐる事が判然分ります。されはこそ白色美顔水は

尊貴の御用品として御信用厚く

世の上中流御家庭の必要品としてます〲人氣を集めてゐる次第であります。萬一にも未だの方は、早く此學者の創製したる新化粧料にて、従來のお化粧の缺点をお取去りなさる様お勸めします。

(定價一瓶金二十錢■各化粧品小間物店にあり)

京釜線(南行) 京釜線(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京仁線(仁川行) 京元線(北行) 同(南行) [illegible]

第五版
京城日報
二月二十日朝刊（新夕刊併せて八頁）

▲十九日前場 米 明期 大阪發らざる人氣にて中三十一圓五十七錢より六錢先八十三錢と一圓十九錢八錢八錢四錢七十九錢八錢六

京城日報　戰中の講和

最近露都電報に、露西亞と中歐同盟との講和談判は、最早打切となれるを傳ふる旨の一方には、小露西亞即ちウクライナは、既に單獨講和條約を取り結びたりと報じ、是より更に轉じて、羅馬尼亞も亦講和を締結する都合にて、[illegible]一歩和を議するの歩を進むるは、[illegible]露西亞を蔽括するの秘密なるに似たり。

而して今日平和回復を思ふものは、獨り露西亞と中歐同盟とのみを云ふべからずして、協商國及び米國内にも講和を云ふもの寡からず。米國人中には、最近ウイルソン氏の議院に於ける演說を以て、平和協議の爲めに其端を開くものなりとして、之を稱揚するものありと云ふ、固より協商諸國民は、交戰五年に涉りて、頗る其辛酸を嘗め、今にして[illegible]の情あるは、固より其處なり、北米合衆國民とても、自由の爲めに戰ふとは云ふものゝ、實は不自由千萬にして、就中鐵、銅、石炭等の價格制限の爲めに、是等の鑛業は、遙かに否境に陷り、其産出額は、著しく減少し、最近の石炭の饑饉の如きは、全く炭價制限の爲めなりと稱す、其他營業の自由、商賣取引の自由等、一として束縛を受けざるものなく、元來自由を以て生命と爲す所の米國民は、果して能く久しく此窮屈に忍ぶを得べきや否や、甚だ疑問にして、米國政府が、ヴェルサイユ軍事會議に加はらざるは、飽まで其自由行動を保護するが爲めなるや論なく、後日若し大勢講和に利あるの機會を見出すあらば、先づ平和回復の爲めに務むるものは、北米合衆國政府なるべし。

由來講和條件なるものは、戰鬪終結後、講和會議の席上にて提出すべきものに屬し、其すら會議委列者、容易に之を切り出さず、十九世紀中、維納會議若くは伯林會議にて、關係列國使臣其處に來り集りて後、數十日間を内相談に空過したるが如きは、則ち相互に其對手の虛實を量りて、苦心惨澹たるものありしに是れ由る、然るに此度は、則ち然らずして、露國革命後の假政府先づ無併合、無賠償の說を提唱し、北米合衆國大統領、英國首相交々講和條件を發表し、獨逸墺洪國政府、其對案に對して、最近北米合衆國大統領は更に其意見を述ぶる所あり、米國大統領の開戰以來、宣言する所のものを序列するときは、其の變遷の次第、一々指示すべきものあり、要者米國勞働派政治家は殆ど米國の講和交渉は、既に開始せりと爲し、今や米國人亦其大統領の言を以て、講和の端を開くものと爲す、此の如きは、世界外交史上未だ嘗て見ざる所なれども、亦是れ通信機關の發達進步の力に外ならずして、戰爭最中に於て、講和の爲に着々其步を進むるものたり。

然れども今日は、猶ほ戰爭最中なり、獨逸は其軍を西部戰線に集中し、近く將に一大決戰を行はむとするの形を示す他の一方には、ヒンデンブルグ元帥は、其兵を佛軍の右側面に轉進して、瑞西を横斷し佛國内に侵入すべき形勢ありと傳ふるものあり、所說紛々たりと雖も、敵軍に其れだけの實力ありや否や、疑はしきのみならず、我味方としては、新たに戰爭に參加したる北米合衆國あり、今年中に二百萬の兵を歐洲に出し得べしと云へば、米國兵が、其力の有らむ限り奮鬪し了る迄は、戰爭は已まざるものと解するを正當とす。

忘機吟壇

青木石雅會次松田學鷗韻　　富澤雲堂

丹青百幅酒千鍾。醉就品評俱共容。眼丹青捨野情。雲煙落紙利名輕。蘇欣緣手添光彩。玉致無聲勝有聲。

操。硯海象林服應聲。花天月地有情徒。梅窗曙鳥巧成窼。竹塢清風妙在相。寄贈詩篇入明論。斐藻室上我驚吾。

評日 急句七字已超妙、後勢稍有萎趣。

龍木石書會　　成田　魯石

評日 異是有情之作

海邊松次江原如水韻二首　　齋藤　三寅

帝城如旭日。正氣及遐方。給衣毒。嵩松翠蓋張。龍吟遠碧。虎嘯動金剛。仰慕三元聖。雄風壓大荒。

賦得宸題趣。頌來天地長。翠巒三保岬。影蘸遠州洋。和浪羽衣曲。鬼霞仙女姿。歲新佳氣敷。

歡壽仰高者。

評日 和韻冠晩、筆勢爽快

牧馬圖　　大久保曉香

軟芳封綠沒駿驪。誰料一場逝松瑩。何嘶馬春風振鬣。爲驀爲驟隔雲泥。

評日 叙景如畫、議論鑿拔

牧馬圖　　成田　魯石

驥嘶振鬣躍驪。滿地躍振芳草瑯。牧野般若地無人。兵氣銷り太平天子放驊騮。

評日 用筆靈警、別成一種言采

牧馬圖

平沙碧草躍雲驄。放聚揮鞭去蔑風。當日遊騮幸古野。刺[illegible]

億英雄。

學園日 自然變遷　天園日 後半拓開一步亦妙

遊支偶錄　　蘇峯生

(卅四) 袁世凱の幽靈

今日の支那を支配する者は、先づ袁世凱の幽靈也。袁逝くも、彼の亡魂は、支那政治の中樞を握り居れり。厄介なる幽靈かな。

今日に於て、支那政局の大役者、立役者を見よ、何れも袁の緣故を、直接間接に有せざるものなきにあらず。北洋派の元老徐世昌の如きは、袁の兄弟分也。馮國璋、段祺瑞の如き、互ひに直隷派、安徽派として、相ひ鬩ぐも、何れも袁の誘掖によりて、成立したる者にあらずや。王士珍の如き、亦た袁世凱の小站以來の舊部者也。[illegible]たる長江筋の三督軍の如き、武昌の王占元の如き、袁の股肱として、十目の視る所たり。又た江西の陳光遠の如き、袁に引き立てられたる者也。特に南京の李純に至りては、袁世凱子飼の門生とも云ふ可き經歷を有す。乃ち廣東派の唐紹儀の如きも、袁とは朝鮮以來、幾多の緊密なる關係を有したりしことは、今更ら並に想起し、特筆する迄もなき事也。

固より袁に關係なき者、皆無にあらず。革命派中には、本來袁とは沒交涉の輩も、往々にして是れなしとせず。されど概觀すれば、支那現在の政局は、死せる袁世凱、活ける支那を攪亂しつゝありと謂ふも、決して誣言にあらず。何となれば今日の支那は、何れも袁の兒分共が、互ひに鎬を削りつゝあれば也。兒分たらざる迄も、袁の政治的衣鉢を相續したる者共が、互ひに相ひ鬩ぎつゝあれば也。

惟ふに袁世凱は、一身若しくは一家の事に急にして、國の事には、極めて不徹底の見識を有したりしが如し。然るに此の不徹底なる見識を、其儘に相續し、袁を分散にしたる、幾多の小袁世凱が、互ひに其の權力を相ひ爭ふに至りては、支那の前途も亦た、悲觀せざらんとするも能はざる也。

懸賞防寒建築案募集

募集要旨

我社今回の防寒建築案募集は、住宅を主として計畫發表したるもの。特に中流階級の住宅を標準としたるは、相當の資力ありて提案採用の實行者、比較的多數なる可きを豫期せるが爲めである。茲に應募者諸君の參考に資するが爲め、左に我社今次の募集要旨を摘載す。

◆建坪　四十坪乃至五十坪迄。但し二階建設計の場合も延坪が此制限より甚しく超過せざる事。

◆家族　夫婦老人一子供三女中一計七人暮らしの立案。

◆提案　平面圖、正面圖、設計說明書等を具備す可し。

◆工費　坪當り百圓内外とす。

◆特案　特に防寒設備を施したる構造部分の詳細の圖面及び說明書。

◆寒度　京城、平壤兩地方に適當する程度の防寒構造。

應募規定

(1)一人一案に限る‖(2)應募者諸君の提案標準は、應用者も最も多き中流家庭の住宅を定則とするも、旅館、料亭等は特別考案として參考に供す‖(3)應募者は必ず一案の平面圖、正面圖及び之が說明書を添附せられたし‖(4)應募者は其設計書に必ず住所氏名を明記せられたし。但し入選の場合紙上發表の際は希望に依り匿名差支なし‖(5)締切期は來る三月十五日とす‖(6)發表期は來る四月一日とし一等より順次三等迄設計書、圖面共に京城日報紙上に掲載公表す‖(7)應募者は『京城日報社編輯局建築案募集係』とし封筒表に必ず『防寒建築案提案』と朱書ありたし‖(8)提案原稿は返戻せざる事を豫め承知あれ

懸賞

應募の防寒建築案にして審査の結果入選したる一等より三等迄四名の諸氏に左の賞金を以て我社は發表の當日懸賞金を贈呈す

一等（一名）金百圓　二等（一名）金五十圓
三等（二名）金十圓宛

どうして　　布施生譯

七十五

眞心籠めての願も頑固な親子には何の感動も與へぬらしく返事は無くて唯獸のやうな險を擧げ凄い眼を光らせた許り永年持荒した兇暴な生涯は却々平和な終りを告げやうとも見れなかつた、探偵長は、それを見てとると、之までと思つたらしく國納に目交して親子二人を引立てさせた、其間も璃瑠子は瞼に一杯涙を湛へて二人の顏を見守つたが二人が愈引立てられて部屋には誰も居なくなると璃瑠子は愈、天譴を受けやうと覺悟した人の如く眞直に身を伸して徐に戸口に向直り手を組み誡には徐かな決心の色を見せて武烈氏の這入つてくるのを待受けた、武烈氏の熱心は自分の抗拒に會うて益々强くなつたであらうとは璃瑠子の察した所であつた。

其内探偵長が二人を引立て、街へ出る足音が聞えた、璃瑠子は今更胸を摧いて"はら〳〵"と涙を零したが其時ばた〳〵と慌しい足音を立て、武烈氏を先頭に谷女それからきた意外にも厚い覆面と長い衣服に身を包んではゐるが紛ふ方なき由紀夫人の三人が伴立つて這入つてきた、思懸けなさに流石の璃瑠子も愕いたと見えて少時はつ今迄の身の防禦も何處へやら慌しさうに手を谷女の方へ差伸して『おゝ谷女』。喚ばれて谷女は直に其手に取縋つてしかし流石に傍に主人が居るのに憚つてか稍堅苦しく『奥樣、おゝ御無事でいらつしやいましたか』。『心配をかけて濟まなかつたわね』、貴女が心配する事は毫しないでは無かつたけれど私如何しても音信が出來なかつたの、强て音信をしやうとすればお邸の名が出ますからね、それを出したうないばつかりに私苦しいのを耐へてお邸を出のですもの』『ふんそうか』、武烈氏は言葉を插んだ、『私を助けたいばかりに、お前は默つて二人に随いて家を出たのか』。『左樣でございますわ、でなければ如何して私彼樣事を致しましやう、私殺されても構ひませんでしたが貴郎のお名を言つて脅すのですもの』、谷女は此時璃瑠子の手首の少し上の所に可なり大きな創がついて惜しい事少し容色を損じたのを見てとると周章て、主人を喚掛け『旦那樣御覧遊ばせ、まあ此お傷は』。平常は眞白な璃瑠子の顏は此時珍らしく眞赤になつて口泣た『奥樣先達てまでは此樣お怪我はございませんでしたよ』。

新小說豫告

『銹』　布施生譯

生れし時より運命に呪はれたる名細工人、其兇行はれたる不思議なる殺人、思はぬ事より其の疑を身に受けたる細工人の弟子、弟子と細工人の娘との切なる戀、娘と其戀人とに同情を有つ優しき女學士、犯人逮捕の功名に焦慮りて外は顧みぬ探偵長、奇談と人情美とを巧に織交ぜたるエルンスト、ホフマンの傑作。右は『どうして』完結後引續き掲載。

廣告

商業登記公告

東京建物株式會社取締役小松林藏ハ任期滿了ノ處大正七年壹月貳拾六日重任シタリ
右大正七年貳月拾參日登記

株式會社朝鮮銀行ハ大正七年貳月八日目的ヲ「一、銀行條例ニ據リ一般ノ銀行業務ヲ營ミ兼ネテ擔保附社債信託法ニ據リ信託業ヲ營ム」ト變更シタリ
錯誤ニ依リ東洋拓殖株式會社登記事項中朝鮮ニ於ケル代表者京城[illegible]一項ヲ抹消ス
右大正七年貳月拾四日登記

帝國生命保險株式會社取締役福原有信、小西安兵衛、志賀直温、北里柴三郎[illegible]任期滿了ノ處[illegible]重任シタリ[illegible]

合資會社設立。商號[illegible]合資會社、本店京城府[illegible]

[illegible]

右大正七年貳月拾五日登記

京城地方法院

購買

入札[illegible]
詳細二月二十日ノ本府官報ニ在リ
京城遞信局

募集日鮮人

外務員代理店主
資金ヲ要セズシテ其地ニ於テ爲シ得ラル、事業月收ハ五十圓以上其他ニ特別ノ手當金アリ希望者ハ履歷書ヲ東京市京橋區北槇町二番地日本商事合資會社
京城總代理店へ送附[illegible]
勸業債券月賦販賣
日本商事合資會社
朝鮮京城府南大門通五丁目六八
京城總店
代理店ハ一邑ニ一名外務員二名

第四回決算公告（自大正六年[illegible]月廿六日至大正七年[illegible]月廿五日）

貸借對照表

資産	金額	負債	金額
未拂込資本金	[illegible]	資本金	[illegible]
貸付金	[illegible]	積立金	[illegible]
割引手形	[illegible]	預金	[illegible]
荷爲替手形	[illegible]	支拂手形	[illegible]
有價證券	[illegible]	借入金	[illegible]
預ケ金	[illegible]	前期繰越金	[illegible]
現金	[illegible]	當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]	合計	[illegible]

損益計算書

一金四拾參萬七千四百四拾四圓[illegible]
一金拾六萬貳千七百參拾參圓七拾九錢[illegible]
差引 金貳拾七萬四千參百拾貳圓[illegible]
一 合計[illegible]
右之通り候也
大正七年二月二日
株式會社 共益社
一、取締役朴承稷、[illegible]任期滿了ノ處重任
一、決定取締役貳名增員ニ依リ高井兵三郎、田中清吉、伊藤[illegible]當選
一、監査役張錫佑ハ取締役當選ニ付監査役ヲ辭任ス

富山房名著縮刷新刊成る

縮刷
文學博士　遠藤隆吉先生著
常識生活の趣味
新刊
社會的に必要なる各方面に亙りて萬般の常識を網羅し之に向つて平明なる說明を與へ、しもの常識百話也。生活の趣味を一生を通じて日々の業務に應じ如何にすべきか人間の天文の原理に出入して趣味の深遠なるを道破す。物を共に風に文の省之に俗教育圖書に認定され十數版を重ねたるお今や縮刷合本半額の廉價を以て大方の愛讀に供す。
袖珍美本一冊五五〇頁　定價壹圓廿錢　郵税八錢

縮刷
大奥の女中　（新刊）
永島今四郎　太田贇雄
德川大奥の生活を遺憾なく描寫し、讀んで興味津々たるもの
特價一圓（定價一圓廿錢）郵税八錢
人民讀本　（十一版）
竹越三叉
新刊縮刷 ファウスト
ギヨオテ氏原作　森鷗外博士譯　袖珍美本一冊
一二〇頁　特價壹圓六十錢（正價貳圓）郵税八錢
作文講話及文範（十四版）
芳賀矢一　杉谷代水共著
特價一圓五拾錢（正價一圓七十錢）郵税十二錢
書翰文講話及文範（二十版）
特價一圓四十錢（正價一圓六十錢）郵税十二錢
菊判袖珍美本

縮刷
文學博士　坪内雄藏先生著
通俗倫理談
新刊
學究を離脫せる博士一流の常識的道德觀を披瀝し、特に青年學生の爲に重きを置きて物せられたるは本書なり。引例說話博く、比喩絶妙、加ふるに筆致の流麗警拔なるに至つては讀む者をして恍惚として嗜好に投じ、面白くて已めらるゝ所なく、博士の議論を知らしむ。本書は青年學生の金科玉條たるは固より、教育に從事する者の一讀を要すべき好著なり。
袖珍美本一冊五六〇頁　定價金壹圓　郵税八錢

東京神田 冨山房 振替一〇五

明治大正文學界の飛將軍
卅年間心血結晶の傑作集
蘇峰德富猪一郎監修
（民友社發行）
新荷著

愛山文集

東京クロース上製　菊版千四百六十頁
定價金五圓　特價金四圓　郵税廿四錢

山路愛山氏は明治大正文壇に於ける飛將軍の隨一人也。氏の文學識世既に定評あり、其觀察の奇警なる、其筆端の自在なる、其趣味の多方面なる、[illegible]不幸三十年の志を抱きて逝く。[illegible]明治大正の文壇に於ける一代の生涯を卒す。本書は氏が三十年間の執筆中より其粹を拔きて五期に區割し、『女學雜誌』『國民之友』『英雄論』『獨立評論』其他に掲載せる史論、人物評論、事業論、政策論等を網羅せるもの、通篇二百有餘章、[illegible]氏の文運と生涯との結晶にして[illegible]天才の奮鬪の痕を此裡に驗せんとする者は須らく一本を購ひて讀め。

發賣所　京城太平通二丁目　京城日報代理部　電話三二六番六六〇構内一八番　振替京城三〇〇番

取次所　巖松堂京城店　電話一一六六番　振替京城二四五四番

第四十回帝國議會（東京特電）

貴族院（十八日）

▲豫算總會

十八日午後一時再開重なる問答左の如し

▼若槻禮次郎氏　米國の輸出入制限令に對し政府は對策を講じ居れりや

▼本野外相　制限令の內容は未だ判明せざるも米國は中立國に對して而已に輸出入禁止の品目を列擧せるも我國に對しては各品目協議の上品目協定の事を商議し居れり

▼勝田藏相　制限令にて我商工業者の受くる影響大なるを思ひ調查に着手し居れり政府は成るべく損害の輕減を期すべし

▼若槻禮次郎氏　國防費捻出の爲め減債基金を三千萬圓に減ずるは前內閣の主張と合するものにて至當と認む當時本員等の主張に反對せる現內閣員等は減債基金を減ずれば四分利付英貨公債を期限迄償還すること不可能なりと言明せり即ち減債基金減額は現內閣員自ら主張を撤回する矛盾を暴露するものにあらずや

▼勝田藏相　減債基金問題に付きては意見の異なるものあり卽ち前內閣にて二千萬圓を減少せるは鐵道改良建設費に流用せんとの計畫なりし故反對せり去年度公債に關しては出來得る丈多く返濟すべし

▼若槻禮次郎氏　日支爲替銀行設立に關しては前內閣にて日支合辦事業に非ざるを理由として反對せり然るに此爲替銀行の內容は其主張を譲し居るが政府は該方法を以て充分なりと思はるるや

▼勝田藏相　同行には鑛林業鑛業其他種々の事業あり資本金額も漸次增加する方針なりとして此銀行經營を以て日支經濟關係を密接ならしむる方針なり支那に對する投資計畫は該銀行のみに一任せず他の方法にて實行すべし

▼若槻禮次郎氏　海外興業株式會社と政府との關係如何

▼勝田藏相　海外興業株式會社は海外移植民の爲め數會社を合同せるものにて海外移植民に關する事務を掌るものなり而して會社は海外投資に付きては外務大臣の監督を受け東洋拓殖會社が株主たる關係上拓殖局の監督をも受け居れり

▲本會議（十九日）

德川議長より十九日午前十時開會、山階宮武彥王殿下の薨去に付き賀陽宮より議會葬儀の件其他に付報告あり直ちに日程に入り議員請暇の件を許可し帝國大學臨時政府支出金繰入に關する法律案、帝國大學特別會計法改正法律案の兩案一括議題に供し

▼岡田文相　提案理由の說明をなし

▼阪谷芳郎男　大學の經費は法律を以て決定しあるは恆久に變更せざるを目的とするにあり然るに本案の如く臨時手當を支給し法律を動かすに於ては別に定款を設くる必要なきにあらずやと問ひ

▼岡田文相　時局の爲め又物價騰貴激甚の結果已むを得ざるなりと應答し、衛ほ繰返し問答あり委員附託

○大正五年法律第四號中改正法律案

▼勝田藏相　より臨時事件費支辨の財源に當つべき借入金及び公債の制限額の增加の提案理由を說明し直ちに委員附託

○戰時船舶管理令（承諾を求むる件）

▼田邊相　簡單に提案理由を說明

▼服部一三氏　昨年臨時議會にて政府は船舶管理の如きは干涉すり限りにあらずと答辯し間もなく本令の發布を見當業者の迷惑を招きしは如何、又本令施行に際し何故一應當業者に內示し意見を徵せざりしやと問ひしに

▼田邊相　前內閣時代より現內閣に亘る經濟調查會の船腹調查計畫を略述し昨年臨時議會當時は未だ本令施行の時機に達せず且人民の所有權を拘束する重大問題なれば船舶管理の法を設くるは何ほ若干の時日を要すと答辯せるなり然るに其後船腹の騰貴は甚だしく法上與へられたる災害に對する程度に達せるを以て其時機に本令を施行せり又政府は最高諮詢府に附して制定せる緊急勅令たるなどして發令せる內示等の必要なきものとしての如く計ひたりと述べ委員附託次に

○家祿賞與禁處分に關する法律案　○沒祿處分を受けたる者に對する家祿賞與禁處分に關する法律案を一括して議題に供し山脇玄氏より政府委員との間に問答あり直ちに委員附託となり午前十一時散會

▲豫算總會（十九日）

貴族院豫算委員會十九日午前十一時開會

▼江木千之氏　海軍今回の提案は今日相當と認むるも陸軍提案には何等の特別の計畫現はれ居らず將來陸軍擴張提案の意ありや又軍團編成は如何

▼寺內首相　陸軍は現今不足と見るべき軍隊增加を必要と認めたれば砲兵の增加を圖り又軍團編成は必ずしも之を行はず砲兵隊の編成は威力の增大となるべく替等にて茲四五年間は十分なるべし

▼江木氏　既定の三十五個師團完成の期如何之れが豫定年度を知るを得んか

▼大島陸相　二十五個師團は先帝以來の計畫なるを以て今回の提案實行後着手する考へなり年度割等に就ては目下調查中にて發表するの運びに至らずと答へ正午休憩

午後一時十二分再開

▼大河內正敏子　我が現在の工業能力にて有事の際十分に兵器を製造し得るや又爆發藥の原料たる鹽の專賣が工場の勃興を妨害し居らずや

▼大島陸相　工業能力に就ては官民の工場にて協力一致施設する方針なり戰時工業動員に就ても考慮し居れり爆發藥の原料は後年我國にてタールを製造するに至らば幾分緩和すると思はる

▼勝田藏相　工業原料としての鹽は利益を眼中に置かず出來得る限り需要に應じ居れり而して外國輸入の鹽をも手加減して工業用に供し居れり

▼阪谷芳郎男　內地と朝鮮と關稅制度の統一を必要とせずや

▼寺內首相　大體統一には同意するも朝鮮總督府は關稅收入を以て歲計の大宗と爲し居れば今俄かに撤廢するは困難なり

此外石井省一郎氏、石黒五十二氏、小澤武雄男、江木千之氏等の質問あり下士の俸給、作業人員の狀勢、赤…

衆議院（十九日）

▲質問會

十九日午後一時二十分開會、濱田副議長議長席に着き諸般の報告あり劈頭

▼押川方義氏（無所屬）　外務大臣の出席を求めて長々數個の質問をなし

▼本野外相　是れに對し押川君の質問は多岐に亘れるに依り書面を以て回答すべしと述べるを

▼押川氏　自席より一二要點を聞きたしと迫りたるも『無用なり』の聲起り

▼濱田副議長　又是に頓著せず樋口龍峽氏を喚びければ

▼樋口龍峽氏（憲政）　登壇政府の對支外交が壓南援北に傾き且常に諸外國の後塵を拜し國務院に偏して總統を疎外する嫌ひなきやと交通銀行借款問題等に言及し論難して降壇すれば是れに對し

▼本野外相　より書面にて答辯すべしと答へ、次いで紫安新九郎氏（憲政）に發言を許したる時三木武吉氏（憲政）緊急動議あり發言を求めたるが濱田副議長より農相の出席を要求せるが議長より農相は貴族院豫算委員會に出席中なれば本院に出席する能はずと告げ

▼紫安氏　登壇暴利取締令は憲法に違反し議會の權限を輕侮せるものなりと斷じ物價騰貴の原因に對し通貨の縮少運輸機關の整備の必要を述べて降壇次いで千葉

▼鈴木富士彌氏（憲政）　登壇安房郡の再選擧に關し種々の事情を述べて不當を論じたるが水野次官は政府委員席にて苦笑を爲せる而已にて答辯を與へず

▼土屋淸三郎氏（新政）　登壇馬尼亞行醫師團の解散に關する質問をなし次いで元田肇氏は質問の日程を變更し米國輸出入制限に關する本野外相の說明を聞かんと緊急動議を提出し異議なく是に決定

▼元田肇氏（政友）　登壇して何ほ當局の措置を聞かんと云ふや

▼本野外相　は今回の事は極めて重大なれば適當の措置を執るべく聯合國の代表者は華盛頓にて充分協商を遂げ帝國の利益を害せざる樣努むべき旨答辯あり後引續き早速整爾氏、正木照藏氏より政府の對策を秘密會を開きても聞かんと迫れるも本野外相之を拒み質問應答を終り再び日程に戾り

▼横山勝太郎氏（憲政）　小麥製粉類の買占に關する質問を爲し岡商工局長の答辯あり次ぎに

▼三木武吉氏（憲政）　登壇言論自由の妨害並に人權蹂躪に關する質問を爲し

▼水野次官　より書面を以て答辯すべしと答へ日程に移り

▼勝田藏相　有價證券割賦販賣業法案の提案理由の說明あり

▼小山松壽氏（憲政）　の質問あり十八名の委員に附託他の日程は延期して六時三分散會せり

○新政會の資格　三名の新加入

新政會は滿和倶樂部分立後所屬議員二十二名に減じ交渉團體たる資格を失ひたるが十八日夜川崎…三郎（無）關原淵里（無）石原正太郎（無）の三氏入會し二十五名に達したるを以て再び交渉團體として待遇方を衆議院事務局に交渉せり（東京特電）

◎辭令

押川製鐵所長官逝去に就き
命製鐵所長官事務取扱
製鐵所次長　工學博士　服部漸（東京特電）

◎服部次長東上

八幡製鐵所にては押川長官の訃報に接し服部次長は十九日午前又田島參事は午後發列車にて何れも急遽上京したり（門司特電）

◎立花師團長

南鮮視察中の立花第十九師團長は十九日夜釜山發急行にて歸任せり（釜山特電）

◎獨立宣言

クロンスタットは獨立を宣言せり（哈爾賓特電）

◎朝鮮製粉進捗

鎭南浦に工場を置かんとする朝鮮製粉會社の株式募集成績は折柄にて既に申込の村入倍に達し發起人は其の割當てに困難を感じたる模樣なるが一方事業計畫は着々進捗し既に會社動力問題も南浦電氣會社との間に需給契約締結したるに付多分來る九月頃より操業を開始するに至るべしと何ほ杉浦專務は一兩日前諸案を齎らして東京に急行二十日頃重役會議を開き各種の事務につき協議決定する由

◎段氏暗殺陰謀暴露

段祺瑞氏暗殺の陰謀大規模に計畫され居る事暴露されたるが之に關係せる某國人四人拘禁せられたり支那人有力者も多數關係し居れり（北京特電）

◎日支商租規則成立せん

日支間商租權の解釋に關しては從來奉天督軍張作霖氏と日本領事との間に交渉あり張氏より其解釋を省內に公布せるが元來商租に關しては一昨年袁世凱氏治世の當時支那側にて擅に內規を設けて施行し居れるも日支間商租取極めの精神に反する點多きより日本政府より協議を求め先般來協調中の處昨今略ぼ纏りたる由なれば近く完全なる商租規則の成立を見るに至るべし（北京特電）

◎ナ將軍統領後任

カレーヂン將軍はドン地方の問題を支配せんとする聯合政府の會議中自殺せり同政府は長時間に亘る討論の末勞兵會に其全權を引渡す事に決定せるが此時カレーヂン將軍は他の室に赴き拳銃を以て心臟を射貫きて自殺を遂げたり右に依りカレーヂン將軍の後任としてナザロフ將軍任命され勞兵會の兵と戰はん爲めコサック民族非コサック民族の如何を問はず全住民の一般動員を行はんとする命令を發したり（露都電報）

◎輸出入禁制品協定

米國にて輸出入禁制令を公布せることは既電の如くなるが聯合國に對しては制限の種目程度等に就き豫め協定する事となり日本に對しても日米貿易品の制限種目程度を協定したき旨米國政府より田中代理大使まで申出であり田中代理大使は應急手段として紐育に在留の重なる貿易商を華盛頓に招集し各同業者の意見を徵し米國政府と交渉しつゝあり右の協定完了するに至りて初めて米國政府は正式に禁止品目を發表するなるべし（東京特電）

◎鮮銀現在株主

鮮銀九年在の株式は二十萬株なるが其の株主は四千八百十七人なりと

◎鮮銀紐育出張所

朝鮮銀行の紐育代理店は橫濱正金銀行紐育出張所に依託し居れり

◎室谷博士東上

龍山衛戍病院長室谷修太郎博士は三月上旬より東京に開催せらるべき衛戍病院長會議列席の爲め來る二十六日出發東上すべし

◎飯島軍醫正北行

十五師團軍醫部長飯島軍醫正は十九日朝安東通過奉天に向へり（安東特電）

人事消息

▲末松昌苑評長　久しく病氣中なりしが一昨日南陽任
▲王錫安次氏（大倉組）　十九日夜入京天眞樓
▲藤原鐵兼氏（東京輸入商）　十九日夜入京朝鮮ホテルへ
▲野手耐氏　十九日夜退京

▲白頭西鰹▲

近著の米國雜誌アウトルックは同誌記者メーソン君の大隈侯訪問談を掲載し礙に侯の長廣舌を紹介して贈つて居る▲メーソン君は侯に『若い老人』なる稱號を奉って曰く▲此若い老人はルーズヴェルトと同樣で內閣を出ても一種の勢力を有して居る▲此若い老人の目は親切氣に見ねるが兩眼は絕えず目擊する事物から滋養物を吸收して居る▲で何時迄も此老人を老いさせないのだ▲且つ此兩眼は封建時代のチョン髷を見今日のシルクハットの禮裝も見て居る▲歐米の政治家も恐らく之れ程多くの事物を見た兩眼は持つまい▲此若い老人は二百五十歲迄長生すると云って居るが其の年に至らずして或は死ぬかも知れぬ▲而し政治上の仰は確かに生れた壽命よりも長さうだ▲と大分若い老人を擔ぎ上げて居るがメーソン君は大いに當てられたのであるんであらう▲而して會談後メーソン君は他の一人と侯の前に腕を抱いて席を動かしてやつたが▲其腕は打球家の腕よりも大きく且つ鐵の樣であつたと書いて居る▲侯の腕ッ節も大分大きいらしい演說には其れが二ヨキ〱と出るから元氣が好い

●大阪だより

…大阪商業會議所も斷然として運動を起す由…ため紙漉に從事する者至って稀な…作業の四分の一に…

△船舶塗料强合　船舶塗料…らんと

△材木市況低調　昔村木は…方なるが下級品は買行減少し相場…の需要盛んに多く相場も昂騰する一冊二手八十手の細線の需要依然旺盛で相場依然奔騰に向ひ印度相場と…紡績業者は特に犧牲的商內をな…を豫想せらる…依然優勢の地位に立つ…

純金指環御安政升　朝鮮の一等工が誠實に製作致候　小形、八十形、四角形、前記印台に丁…純金一匁五圓三十錢、工作一圓、彫刻は一字十錢、四十錢…保證　責任　京城南大門通一丁目　友助堂時計舖　電話二九七七　振替一八九五番　代金引替の御注文に應じ候

二月廿三日午後一時より午後四時迄　二月廿四日午前十時より午後四時迄　生徒成績品展覽會　私立京城女子技藝學校　南大門內電話一七九九番

京日案內

新聞社員採用　面會時間午前十時より午後五時迄　京城本町二丁目四十二　北崎　401
◎乳母入用　生後四ケ月の女子　京城古市町　若松地商店　電話三一〇八番　412
◎機關士入用　經驗ある身元確實なる者一名採用す　川本町　川田酒部　411
◎募集　蓬萊町四　酒造業に經驗ある壯健なる者數名至急入用　電話一〇六七三番　但本人　410
◎看護婦募集　履歷書持參來院あれ　京城府長谷川町　安東病院　409
◎讀店　內地品物店老舖にて相當信用ある商賣有　京城櫻井町一の九三角　きくや　403
◎融通　月收の御方へ秘密迅速簡易　大和町三の三二（初音前）白木屋　398
◎看護婦募集　外勤多忙免狀有者履歷書携帶午前中本人來談　南山町三　宮林看護婦會　電話一八一七番　408
◎古著　古服商　高價買入御報參上　木村屋　黃金町二丁目電話二三三〇番　395
◎店員入用　二十歲前後市內に保證人を要す　京城吉野町　友田通運店　電話二一八二番
◎採用　內外勤社員　名譽職　履歷書携帶本人至急來談あれ　京城南大門通三丁目　共同火災保險出張所
◎女中入用　年齡二十歲より三十歲迄希望者來談あれ　南大門驛前　二見旅館　402
有給社員招聘　社員あり至急本人來談　京城黃金町二丁目一八一　橫濱生命保險株式會社支部　400
◎勸業債券　三七回わ他店より特に高價買入　京城太平通二丁目拾參番地　電話二七九三番　朝鮮勸業社　386
恩給　年金　公債　低利金融　擔保貸附　立替一切扱　京城若草町　電話三三〇番　西村商會　385
恩給　年金　月利　即時立換　京城南大門外　電話二六八八番　山口屋　324
◎礦物定量分析　太平町二丁目　電話長一三四〇　朝鮮公論社左橫小路　坂元分析所　331

東京工學校　生徒募集　電氣、機械、採鑛科本科及電氣高等科（三級程度）　學期四月八日開始

飛行少年　三月號　大發展　空中決闘　北條時宗　浮世繪　日本飛行研究會

三月號　少年世界　少年少女雜誌の中で一番面白い　東京本町　博文館　定價二十三錢

小槌の大助　肉彈事件　新懸賞　源平合戰　少女世界

藤田當平著　新朝鮮錢史　高麗朝迄の部　定價九十錢　送料二錢
著者の古錢研究に沒頭するや既に年あり今や其秘藏と其見識とは一方の權威として斯界に喧傳せらる本書は錢貨學（Numismatics）の見地より編纂せるものにして實に其收錄の錢圖は皆新發見の珍貨を網羅し著者秘藏のもの尠なからず考古學上好個の著述なり殊に其鑄造の金銀及鐵錢等に關する創見は愛泉家の蒙を啓くや大なり
大阪造幣局技師甲賀博士より著者に寄せられたる器評に曰く『考證斬新頗る從來著述者の蒙を啓くに足る』と
販賣部數僅々百部に過ぎざれば至急本代理部に申込あれ
發賣所　京城太平通二丁目　振替京城　京城日報社代理部

內外科　小兒科　花柳病　京城本町二丁目（寄節前）電話二一六番　高井醫院　院長　高井貞治　副院長　千葉醫學士　松崎正彥　診察自午前九時至午後九時　日曜祭日正午迄

[illegible]あるを以て名古屋、三重、岐阜、[illegible]の會議所聯合して近々[illegible]促進運動を開始する計畫中なる[illegible]に從事するもの多く[illegible]の激增するを當とするものなるが本年は他の勞働賃銀の昂騰せる逐み來り目先益々强合みの狀にあり[illegible]して手控へ居れるが[illegible]に迫り居れる[illegible]の至し居れり[illegible]奔騰を告げたるが前途倘上押しの[illegible]今は需要多く諸材木中にては上物系の最[illegible]

住宅問題

▽建築上から觀た家相の吉凶

出來得る限り觀相上の理論を應用せよ

—總督府某技師の談—

今の世の中で家相などを云々すると舊弊だとか御幣擔ぎだとか貶されるが然し方位とか家相とか言ふものは多くの經驗から得たるものを綜合して比較的妥當と信ぜられる處のものを以て斯くあると言ふのであるから決して輕蔑すべきものではない。之を

化學的に研究しても甚だ興味ある問題であるのである。例へば觀相家は東は震に位して伸暢に配す故に東に向つて家を建つれば子孫榮え西に位するに依り百物收藏の德を行ふ乾は肅殺の氣を含むが故に此方に向へば資財離散すとあり、南は離、離は明に位す。故に大陽と稱し陽を主として以て萬物を生育す故に內に陰を含みて萬物を蕃潤し外は陽に此の方に吉相を布く時は精神壯んに至り子孫長久なる事を得北は坎と稱し極陰に位して大陰と言ひ吉相の德を布けば幸福なる可く凶相なる時は家運衰弱すと云々とあるが單に此れ丈けを見ても建築家の理想なり

衛生上の理想から觀て一致する處がある

試みに思へば西北に當つて倉を建つるを榮へると言ふ事があるが、此西北は冬期西北風を受けるから此の方角に藏を建てると防風にもなり又家屋の保存にも適するから之を衛生上より見ても妥當と信ぜられる又鬼門は觀相上最も忌まれてゐるが東北方に寒風を受けるから家にも便所にも惡い此處は床、戸棚のやうな重要ならざるものを置くのが宜しい斯樣に近代の建築法と觀相上の理風とが相一致するから建築に當つても大いに家相の研究をして衞帶ではあるが建築上に觀相上の理論を應用した方が宜いと思ふ

斯る見地から部分的の位地の選定をすると東向には庭園小山を眺めた座を設け西の方には納戸、押入等を造つて日沒の强烈な日光を避け南には矢張座敷を作り北には居間を始め書齋などを作つては絕對に惡い但し庭園などは宜い、それから巽（東南）には第二に位する室を置き坤（西南）には便所を設け此

●廉潔な人

逝ける押川長官

國分李王職次官談

自殺せる押川長官のことに就いて國分李王職次官は語つて曰く「押川長官とは懇意と云ふ程ではないが屢々會談して識つて居る

◆最う五六年も會はねが初對面は數年前、官を罷めて朝鮮觀察に見えた時である、デップリ肥えた溫厚な容貌の持主で人つきも却々好い、加之に話しの好く解る禮度の洒蹉な人であつた、自

◆疑獄事件の爲めだつてタフム夫りや氣の毒な事だ、然し疑獄事件の爲めとしても長官は直接の關係はないだらう、非常に廉潔な人であつたから多分自己の責任の重大な事を自覺した結果であると思ふ、先般王世子殿下のお伴をして八幡に參つた際は

◆恰度議會が始まつて居なかつたから總に會へなかつたが……兎に角氣の毒な事をしたものである』因みに同長官は札幌出の農學士にして水原模範場長本田幸介博士とは同窓なりと

●職工專橫

◆朝鮮人職工は內地人に比し懸隔がない◆

入京中の朝鮮燐寸株式會社取締役齋藤顯次郎氏の談に依れば大阪では

◆勞働者の爭奪が旺んであるから各種工場主は之が對抗策を新規補充に手を燒いてゐる燐寸職工なども最初は男工一圓二三十錢女工三十錢位の日給であつたが、次第に騰つて目下の處では男工二圓二三十錢女工六七十錢位も出さねば斷と言つて入つて來ない從つて

◆職工の專橫な事はお話しにならない若し氣に喰はない程で工場主が少々氣に喰はない事をすれば黨を組んで他の工場に走つて了ふから工場主は職工の御氣嫌取りに忙しく普通の日給に特に代とか獎勵金とか言ふ名目の下に幾程かの手當を增給してゐるものさへある怪しからん狀態であるから南洋方面から盛んに

◆新規註文が入つて來るにも拘らず職工は不足する、其の能率は下つて行くと言ふ始末で工場主の苦心は非常なものである、朝鮮燐寸會社では職工を熟練させるために數箇月前から燐寸小箱の張上げをさせて居るが朝鮮人は概して年寄よりも十二三から十五六までの幼年者の方が

◆技術も巧く仕事が早いやうである內地人に比較すると內地人の手の早いものは一日に三千五六百位で普通のものは一日に三千五百仕上げるが朝鮮人は未だ早いもので一日平均千乃至二千と言ふ處であるから充分とは行かぬが然し之は未だ

◆經驗が淺いから仕事が遲いのであらう私の觀る處では半箇年以上も經驗を積めば內地人に比して何等懸隔がないまでに上達する事と信ずる

◆稀らしい暴風

▲十九日の正午頃から京城には又稀らしい暴風が吹いた、折柄雨少なく大地が乾燥して居たので、暴風は細かい砂塵を卷き揚げ、眞正面に向いては殆ど目も口も開けて居られぬ有樣▲そこで通行のものは、五分と十分も一ツ所にウツと立往生させられる、傑作なのは散々困つたらしい▲附番風と共に非常な寒さを感じたが、京城測候所員の話しによると是は風が濕氣を含んで居たからであるが、南から吹いたから割合に溫かく、最高氣溫も攝氏の五度を示した位、却つて前日よりも氣溫が騰つて居たさうな

●製粉暴騰

奉天市塲麥粉拂底

內地に於ける製粉相塲六圓臺に暴騰の影響を受け奉天市塲の粉價も亦三十錢方敗貴し四圓七十錢以上に奔騰せり倘ほ神戶鈴木商店買付の手は滿洲全體に及び奉天市塲の麥粉は一掃せられんとする狀況なり（奉天特電）

●奉天舊正月

決濟好況

奉天市塲に於ける支那商店の舊正月決濟は昨年中一般好況なりし爲め何れも好況なり殊に綿糸布商の如きは資本に倍額せる純益を納めたれりと（奉天特電）

●艀船轉覆

郵便物七個流失　乘客一名溺死す

十七日元山發航の京畿丸は十九日汝海津に碇泊し乘客を艀船に移乘せんとする刹那折柄襲來せし風浪のため艀船顚覆し不幸にも乘客の鮮人一名激浪中に落ち込みて溺死し倘ほ郵便物七個は行衛不明となり又乘客中の岡本工務課長の如きは辛うじて彼岸に達せし程にて手荷物は悉く沉失せりとの急電當地朝郵支店に達す（元山特電）

●養母を刺す

松江の文學藝者

島根縣松江市雜賀町玉木𠮷子（二三）は藝妓として美貌と多少文學を解せるより艶名を唄はれしも其後藝者好の文學に親しみつゝある市內母衣町赤穗郡相生町學生寳山孝に兵庫縣赤穗郡相生町學生寳山孝（二三）と親しくなり其男に脅迫されて之が原因となり養母やすを小刀にて刺さんとして之れに重傷を負はせ十八日午後松江署に引致されしも取調べの結果精神に異狀あるを發見し目下同署にて保護中なりと（松江特電）

●遊蕩費に窮し

主家の物を盜む

原籍仙臺市南町菓子商某方男衆松信太郎（二三）は平壤に流れ込み南門町脇坂寫眞部に雇はれ居たるも常に素行納まらず遊里にのみ足を踏み入れ居りしより遂に昨秋解雇されし其後鎭南浦某菓子店に雇はれしも永續きのする筈なく又もや平壤に舞戾り壽町古都軒に住み込みしも捗々しからず解雇の身となり所持金を流浪中南門町荒木洋品店主は昔年の從食するを惜み同情を以て身元引受人となり同店に雇入れたるに反つて之を奇貨とし十二月二十日より一月五日頃まで主人の病氣入院中を幸ひ數回に亙り商品綸、絆、其他四十餘點（時價六十圓）を盜み出し之等を入質し擧て驪染める賑町遊廓若松樓二枚藝妓金龍（二）に貢ぎ更に現を抜かし倘ほ商品中綸、絆、其他數點約二十餘圓の物を金龍に貢ぎ細紐外三點を同樓仲居ハツに與へ鼻毛を讀まれ居る內お定まりの遊興費に窮し其知己たる賑町東郷寫眞館に食客となり倘も不正の工面を爲しつゝ金龍と逢瀨を樂しみゐたりしが此事早くも平壤署寺田刑事に探知され去る八日同家より金龍の許に赴かんとする處を引致され取調べられたるに倘ほ脇坂寫眞部主任國人二郎所有の銘仙袷一枚其他二點（時價二十圓）をも窃取せし事まで自白に及びたれば倘ほ餘罪ある見込にて取調中なり（平壤）

●龍山の賭博狩

內鮮人常習者續々檢擧さる

十二月より一三月の結氷期に於ける一部工事の中止せられし結果龍山に於ける一般勞働者が閑散となれるところより過般來より同地方にありて賭博流行の傾きあり龍山憲兵分隊にては是等の惡風を防遏するため過般來より各方面に亘りて檢擧の手を擴げ賭博狩りを開始し數日前より同分隊に羅致さるゝ者尠からずその被檢擧者は內鮮人相半し殊に內地人には婦人も半數以上ありて常習者多くカブ或は八々と稱する賭博を爲す者にしてそれ〳〵嚴罰を加へ居れるが今後も一層檢擧を嚴重にして賭博熱を一掃する方針なりといふ

●第六彈にて豹を倒す

獵犬嚙さかる

十七日夜慶南梁山郡所土村に住居する山崎喜右衞門氏は頃日來頻に由山々麓の谷口より崖に亙り獰猛なる豹の一群出沒するを知り腕に覺えの十二番新式銃を肩に飼養の獵犬二頭を連れ該山麓に差しかゝれば果然豹の棲栖するを物蔭より窺ひ居りしにそれとも知らぬ

◆眞黒の怪物三頭許りとある山の窪所に現れしかばさてこそ御參なれと銃口を差向くると共に先づ一疋の獵犬を放てば犬は好き敵を得たりと言はぬ許りに驀進し其中の一頭目懸けて飛付くよと見えしが敵も左るもの〻ガマの如き爪をもつて犬の脊中に突立つると共にグイと前に引つ張りしかば

◆脊中は眞二つに引裂れしも其犬頗る豪氣な奴にて倘も再び豹の咽喉元目懸けて飛付きしにぞ今度は爪を頭に打込まれ腦漿さへ引出されたるに遂に即死せしが後に殘りし一疋のエスは己が仲間を殺した仇討せんと豹の橫耳に喰ひ付き格鬪して多少弱りし豹の隙を見屆け山崎氏は此處ぞと狙を定め

◆一發胴腹に打込しも此奴容易に往生せず續け樣に二發三發浴びせかけ第六發の銃彈見事に咽喉を射て漸く怪物倒したりしが外の三頭はこの光景に驚き一目散に山奧さして逃げ去りたり、若し三頭共一緒に出會せば到底一命は無からんと同氏は歸り因に此豹は八十圓にて即賣されたりと

●大幸氏の轉勤

東本願寺朝鮮布教監督大幸頓惠師は這回北海道へ轉勤となり不日京城を引揚げ一先京都本山に向ひ出發する由なるが師は京城在住多年に亘り其間の功勞少からずとし一般信徒は惜別の意を表する爲め送別會及び記念品贈呈の計畫ありと

●寶生流素謠會

渡部武三郎師の第三十八回を來る廿四日（日曜日）正午より倭城臺俱樂部に開催する由なるが番組左の通り

▲橋辨慶　シテ渡部武三郎　トモ長谷川唯作　子方淺山諒史▲俊寛●　シテ木村昌作●　ツレ細橋又次郎　トモ安藤通　成經兒島新吉▲忠度●　シテ長谷川夫人　ワキ日新夫人▲白髯●　シテ千田克己　ツレ尾石剛毅　ワキ吉武俊雄▲咸陽宮●　シテ西田三郎　ツレ[illegible]▲綾鼓●　シテ岡本桂次郎　ツレ加藤正美　ワキ山田德藏▲海人●　シテ上田徹　ツレ坂尾一造▲早水旭　祝言

慶尙南道蔚山郡大峴面上開洞の金性元と云ふ鮮人は金海金氏の裔であるとのことであるが▲同人の家には金の子孫が對馬に多數移住したと云ふ文書が遺つて居るとかで▲其對馬にある自分と祖先を共にする日本人を非常に戀しがつて居るさうだ▲そして其先祖の墓地は慶南蔚山郡靑良面の東蛇洞の北方に南方に向つて建てられてゐる日本人で同碑の主の子孫たるものは尋ねて來いとの廣告迄して待つて居るさうである▲その記錄と云ふものがどんなものか調べて見たら或は面白い史料が顯はれるかも知れぬ▲史料と云ふとに就いて思ひ出したのは全姓の朝鮮人のことである▲朝鮮で全姓と云へば二百五六十年前までは勢ひ中々盛なるもので廟堂に立つた顯官の人も多かつたが▲一度政治上に睨まれるや一百五十年來と云ふものは假りに科擧と云ふ高等文官試驗に及第しても玉堂以上の官吏になることは出來ぬことゝなつた▲隨つて近年に至つては全姓は全く衰微なものになつたが之に反して金姓は非常に勢力を得て歷代の王妃中には金氏の出が多い位であつた▲それに就て面白い話は往年文獻備考の編纂をした時學者先生達は全と金とが一寸似て居る處から昔威望一世に高かつた全姓の高官をば皆金姓にして仕舞つた▲これを見た全の一門は驚いたと云ふのは自分の先祖が皆金門の先祖になつてしまつて居る▲これは一門の名折れ只だ置くことはならぬと其訂正方を時の政府に請願に及んだので▲政府では調べた上で間違つて居れば訂正もしてやらうが訂正をするには莫大の金が掛り經費の關係▲もあるからそうは出來ぬとのことでなかつたが▲やつと一年許り掛つて遂に其目的を達したとのことである

●正誤　十九日夕刊二面「黃塵の街」と題する記事中京城の風速一秒間十二米突八（二十九哩半）とあるは十二米突八（一時間二十九哩半）の誤り次ぎの十六米突（三十六哩半）[illegible]

△印度向系有望　本邦紡績業者は英國の工場職工動員の結果マンチエスターの綿業の減少生產力の減退を氣構へ[illegible]印度市場に於て日本綿系の勢力を扶植し[illegible]に於て其基礎を維持せんとの競爭は本邦綿の低廉なる特色[illegible]好機會なるを以て此機會に乘じて[illegible]に値するものあり而してマンチエスター綿系[illegible]すべく本邦綿業者の努力大いに要望[illegible]

正誤　大正七年二月十五日發行京城日報朝刊第壹頁廣告欄內京城地方法院大正七年中第七三號公示催告中誤植ノ箇所左記ノ通訂正ス

一、慶尙北道漆谷郡倭館面錦南洞　申立人　朴[illegible]海　誤　朝鮮銀行[illegible]支店振出番號第四[illegible]號金貳拾圓也證券大正六年壹月拾[illegible]日振出地京城支拂地京城ノ所持人朴[illegible]海[illegible]　但[illegible]

一、慶尙北道漆谷郡倭館面錦南洞　申立人　朴[illegible]　正　朝鮮銀行[illegible]支店振出番號第四[illegible]號金貳拾[illegible]圓也證券大正六年壹月[illegible]日振出地京城支拂地京城最終ノ所持人朴[illegible]　但[illegible]

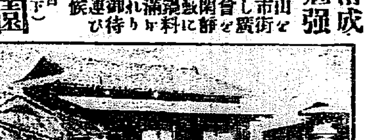
最新刊

朝鮮敎育者必携　朝鮮敎育研究會　二、五〇
[illegible]　六五
朝鮮畜産例規　吉田雄次郎　七〇
朝鮮司法警察法規集　藤沼武男　五〇
日本諸禮かな帖　島村不老　四〇
茶と要領　[illegible]竹朝　一、二〇
文字を崩す法　[illegible]　九〇
八體系[illegible]　鈴木文太郎　四、五〇
遺傳の實驗　外山博士　一、二〇
出來る美容の仕方　武藤度子　七〇
[illegible]光學論文集　[illegible]幸五郎譯　二、五〇
立憲勤王論　尾崎行雄　七〇
簡易生活の實例　西村文則　九〇
新訂支那文明記　宇野哲人　一、四〇
敎育の進むべき道　明治敎育社　一、三五
ハウプトマン・[illegible]　[illegible]譯　一、五〇
日本の佛敎　境野黃洋　一、〇〇
全人の戰　磯部海軍少佐　八〇
六傑作集（三）　村上浪六　一、二〇
サニン　アルツイバシエフ　一、〇〇
何處に行く　シエンキエヰチ　一、一〇
朝鮮地誌　[illegible]　一、五〇

大阪屋號

軍隊拂下品專門
紺絨外套（壹圓六拾錢）
鐵道局拂下外套各種
其他防寒襦袢、袴下、手袋、卷脚絆、被服類一切
茶褐改造足袋、羊毛ズボン
作業用應用品一切
毛布賃貸しも可仕候
京城北米倉町　村上商店　電話千百十二番
雜貨　メリヤス　商
洋服職工入用

新築落成ご大勉强
背景に南山を控へ京城市街を眼下に瞰し廣間には宴會に輕便にし閑靜なる小座敷には獨特ノ[illegible]料理にて御滿足を謀り至れり盡せりの御待遇續々御遊びの程願上候
一日園
南山町二丁目（舊居留地北下）
電話一四九番

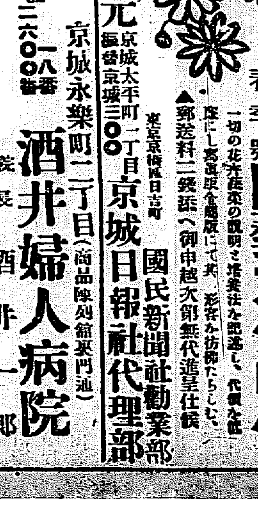


等支那料理開店披露
弊園今回北京元親王に奉仕せる調理人を招聘し黃金町鳴學校東隣に開業仕り候調理は今更贅言不仕北京社交界の粹を集め器具は素より室內の裝飾其他に至る迄細心の注意を拂ひ殊に園內には大宴會場朝鮮及茶室の設備有之且園には高樓を繞らし歡樂の裡に北漢山の風景を一望に納むる茲に雅叙園と銘名せる所謂に御座候本月十九日より開店仕候間何卒御來園の程奉願候
京城府黃金町壹丁目百八拾壹番地
北京料理　雅叙園　謹白

金庫ポンプの熊平は又洋家具の熊平とも言はれる

京城本町　熊平支店　電話三一五・一六二　振替京城一二二四番

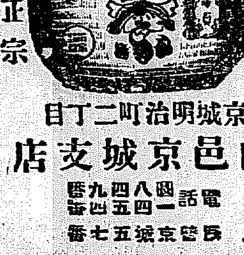
京城（[illegible]）
山田耳鼻咽喉科
稻田齒科　醫院
電話二二七七番



大正七年春季號　園藝カタログ（無代進呈）
一切の花卉蔬菜の說明と培養法を詳述し、彩色な挿畫たらしむ、代價を低廉にし[illegible]
▲郵送料二錢添へ御申越次第無代進呈仕候
發賣元　京城太平町一丁目　京城日報社代理部　振替京城三〇〇
東京府梅田日吉町　國民新聞社勸業部

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）
酒井婦人病院
院長　酒井一部
電話一八番・二六〇〇番

比較は最良の撰擇法なり!!



サクラ正宗　サクラ正宗
京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話[illegible]　振替京城五七番

內科　小兒科　呼吸器　胃腸病
外科　整形外科　內臟
肛門病、皮膚、梅毒淋病　婦人科　わきが
京城本町五丁目（稻荷座前）
大和病院　電話二〇三
入院隨意
學生軍人　勞働者　藥價輕減
院長　醫學士　齋[illegible]勇
副院長　醫學士　小川淸
副院長　醫師　齋[illegible]豐次

櫻御殿

第百五十六回　大阪　霞の家主人

寒月（十三）

「これ〳〵」と宗之助は地へ跪わたやうに内儀を呼んで「その仁に室を貸すことは相成らんぞ、宿賃は此の方から如何許でも償ひ取らせる」

「いや、當方へ貸してたもれ、宿賃に糸目は付けぬ」と助左衛門も意地になる、初瀬は白刃を同様の勢に、今にも息の切れさうな身を擬べる

利右衛門は助左衛門が執拗く意地を張るを衷心から憎く思つた、斯うした事情とは知らず、刀に掛けて助太刀すると誓言したるが、今になると裏恥かしい、相手は女でも大病人、弱い者を扶けてこそ武士の表理は立つに、寝首を掻かうとする卑怯兒に助勢して、刃を研ぐは法でない、いで一打と勢ひ込む

桐島は長夜の夢から覺めた樣に

「さては御女儀樣でおはしたか、さうとは知らず命まで打ち込んで懸をした、さぞお案ひなされてあらう」と思ふほど冷汗がしとゞと流れる、父は助太刀の約束をした爲、拳を悔い、女は有らぬ戀地に踏迷ふた不覺を耻ぢる、その前で宗之助は義理に生き、助左衛門は執著に絡まれる、内儀は双方の云ひ分を篤と聞いて

「此の座敷は誰方へも貸しません、御一晩の宿賃を戴かうとも申しません、後のお客さまは歸つて下され、有村樣のお伴衆は、お貸し申した奥の座敷だけで、外へ出て下さりませ」と云ひ切つた

宗之助は安心の胸を撫でる

「さりとは聞き分がない、お内儀は存じもあるまいが、この病人は我等の仇家、參快を待ち受けて、只一刀に斬り殺し、武士の意地を立てねばならない、斯う云ふわしは藩の御内大矢田助左衛門、便宜を與へくれたらば、後日悪いやうにはしない、お身もちと慾を知れ」

「いや〳〵、御門は執拗く云ふ、貧乏には暮らして居ても、慾心は持ちませぬ、さつさと出て下さりませ、お前の樣な人に貸しては、御先祖樣に叱られます」

内儀はます〳〵強く云ふ、いかな助左衛門も沈著いては居られず頰を膨らせて

「お身達共謀になつて、わしの望みの妨げを致すと見ゑた、諾し、それならそれで思案がある」と恐しい目で睨み廻す、その眼光の落ちる處に、利右衛門が坐つて居た

「風早殿、退去致さう」

「いや、約束は無換へ、これにてお別れ申すでござらう」

利右衛門は突き放すやうに云ふ

「言語道斷、お手前二枚の舌をお遣ひぢやの」

「今までは目が眩んで、金と蔵を見違へたが、やつと心に光りさした、いかやうにも仰せられへ、我等は義に由つて進退致す、世に弱い者を扶ける程ど、義に協ふたことでござるまい」

「諾し、さらば頼まぬ、お手前の變心で番生殿の家風も知れた、假令當家は退却しても、仇家を免すことはせねぞ、あの病人の首級を持たずば、國許の地を踏むことのならぬ身ぢや、門前に露宿しても全快の日を相待ち申す、左樣心得さつしやい」

助左衛門は減らず口を叩きながら立つた、内儀は慌てゝ鹽を摘んで來て

「もうお越し下さりますな、二度とお來でなされても、敷居を跨がすことぢやござりませぬ」と云ひながら鹽を撒く

宗之助も利右衛門も、内儀の痛快な仕方を歎んだ

「お父樣、お恕し下さりませ、わたくし程の不孝兒は又と一人ござりません」

桐島は父の前に泣き伏した

日報俳壇

冬の雲（百十五句ノ内二）　山紫坊

鳴かで飛ぶはぐれ鴉や冬の雲
山鳴りに慄く蹊路や冬の雲
逆潮に漕ぎ悩む舟や冬の雲
鳥發ちて空ろ鳴る芦や冬の雲
足場組みし櫓の普請や冬の雲
晒布の眼に滲む土手や冬の雲
傴鳩の濡れて戻るや冬の雲
籾を摺る唄挨ろ戸や冬の雲
石門に錆つく錠や冬の雲
朝戸繰る音の重たし冬の雲
雑木伐る斧の響や冬の雲
河心流る鈍き陽脚や冬の雲
冬雲や帆濡れて運ぶ船の脚
冬雲に尖る街路の木立哉

酒

—三の日會—　默子

○一合と二合と酒は深みきて今はぞ叫たうたび初めにけり　芳子

○たぐひなくめでたきものに酒をのむ若人の酒の消しき夕なり　秀峰

○もゆるがの思ひにさげもあげにける酒なれどすべもすべなし　阿岐良

○きりぎしのあれの岬げまぎりゆく帆船を見ればけふも酒欲しき　不案

酒のならべるなべにけふものむ酒にむにろむ心地こそすれ

新刊紹介（到着順）

▲生命の文學（松浦竹夫講師著）著者が常々に於て講述したる教案に基き更に之を趣味ある書き方にて公開せるものなり文學を人生との關係を説き更に知らんと欲する人は須らく此の書を讀むべし（一圓六十錢東京日本橋本石町寶文館）

▲世界の衣食住（櫻井鷗村著）著者獨特の議論なる識見を以て在らゆる衣食住及び食物等の歴史を詳叙し且つ之に對して科學的の説明を加へ衞に之を如何にせば安全に且つ容易せしむるかを研究したる面白き著述なり（一圓四十錢東京麹町三丁目丁未出版社、同日本橋本石町寶文館）

▲一撥録（寒田長陵著）日く「心身治療術秘蔵の手引解説」と成る程ど讀めば醫者いらずの臨病須知集に對する秘法が公開しある快著述なり（一圓東京芝二本榎西町二國の友社）

▲郷生旅日記（貞山譚）五百頁近き長篇の面白き講談本が一册僅か三十五錢とは無類の廉價と稱すべし（東京日本橋博文館）

名聲いよ〳〵高く信用ます〳〵厚き
高麗人蔘エキス
京城府明治町一丁目
小笠原大藥房
電話一九四八番振替京城三七五三番
支店　大阪市西區市岡町二七一

讀者の分

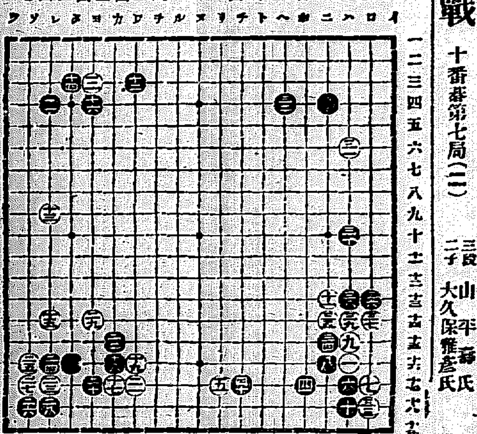
▲此の病院にして此の看護婦ありか近頃明治町に興行中の醫術師一座中に海山千年とも云ふ看護婦が二人あり心付もなく馳走なきものには實に冷淡たり（赤電燈）▲本月十五日午後三時頃市内南大門通五丁目御成湯の横空地内に赤兒の屍體二個掘り出されてあつたのを見て驚きました世の中には隨分無法なるものが居りますね（通行人）▲貴紙に折々道路に勝手元の水を流して通行に困ると云ふ記事を見るが多くは裏通りの小路である能く調べて見ると附近の家主等が道が狭くて車が通せぬ等の爲道路の一端にある溝を埋めたり又は下水道を絶つ結果である（保安係）

碁戰

十番碁第七局（二）

三段　山平壽氏
二子　大久保雅彦氏

○二一	ソの十七
●二二	カの十五
○二三	レの十七
●二四	レの十六
○二五	ヌの十六
●二六	レの十八
○二七	ソの十七
●二八	レの十八
○二九	ヨの十四
●三〇	ハの十
○三一	ハの六
●三二	への四
○三三	ロの十八
●三四	ニの十五
○三五	ニの十四
●三六	ロの十三
○三七	ロの十四
●三八	ハの十三
○三九	ハの十四
●四〇	チの十七



下關期米

大阪期米

鐵商に寄付たるも賣物多く七十九錢五錢六錢錢三節八十錢より七十七錢ありて八錢四節中五十錢より五十四錢先七十五錢まで六錢を打止めたり

十九日の四月限

仁川米豆取引所

登錄商標
滋養强壯
芳香美味
蛇の目印ポートワイン

（現品縮寫圖）

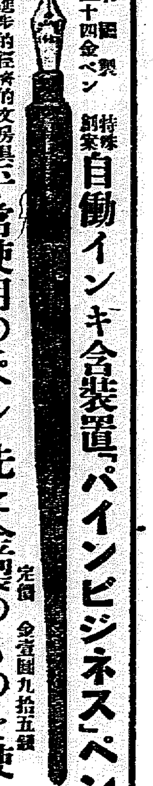
本品は最も優良なる天然純良葡萄酒を素とし有効なる補血强壯劑を配合し精製せし醇良無比の甘味滋養葡萄酒なれば御愛飲の御方は消化を助け食慾を進め血を增し肉を肥し殊に誇るべきは精力を強くする等一般御家庭に於て日常御飲用せらるべき絶好の理想的滋養强壯飲料なり

賣捌所は全國到る處の洋酒、和酒、鑵詰、食料品店及薬舗、雜貨店にあり

【類似品あり登錄商標◉蛇の目印及松下善四郎に御注意被下度候】

發賣元　洋酒　食料品　鑵詰　直輸出入商　煉乳　家庭藥　雜貨
大阪市東區高麗橋貳丁目
㋕ 松下善四郎
電話本局一八五　長一八六　長八二〇
電信略號マツセ　振替口座大阪一二六

米國製　正十四金ペン　特殊創案　自働インキ含裝置「パインビジネス」ペン



進歩的經濟的文房具の需要日に加わる平常使用のペン先に金製のものを使用するの最も適切なるは言を俟たず、而して此の金ペン先を裝する軸エボナイト製に到りては唯あるのみ、特殊創案の飲入物によりて金ペンの背後に密接する「インキ」を含ますれば宜く數頁の使用に耐ゆる所から一段の理想的の文具にして各銀行、會社、官廳の御用に先耐久力ある等

定價　金壹圓九拾五錢

發賣元　京城日報社代理部
京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番

胃つぎ（ちようじき）治療
明治町ふらんす教會前
荒川仁壽堂　電話二五九五番

故城山春吉葬儀の際は御會葬被下難謝仕候
二月十九日
男　城山延命
同　城山鐵雄
友人一同

釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行	和歌浦丸	二月 日後五時出
立神丸	二月 日後五時出
○元山、清津、浦鹽行	和歌浦丸	二月十二日後十時出
立神丸	二月 日後四時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行	天草丸	毎月二日九日十四日 廿一日廿六日 午後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行	第三琴平丸	二月廿三日後六時出
○門司、宇品、瀬戸、大阪行	第三琴平丸	三月四日後六時出

本社　京城府黄金町 / 釜山代理店　大池回漕部

仁川出帆　共同汽船

芝罘、大連行	共同丸　二月廿一日午後入港 / 二月廿二日午後出帆

仁川代理店　本町四丁目　野口商會（電話一七三番）
元山代理店　田口回漕店
京城南大門　河村運送店

大阪商船株式會社出帆廣告

仁川出帆

神戸大阪行（群山寄港）	須磨丸	二月廿六日後五時出
木浦、釜山、嚴原、郷ノ浦、長崎行	安東丸	三月十八日前十時出
信濃川丸	二月廿八日後二時出
大連行	安東丸	三月十三日正午出
信濃川丸	三月廿四日正午出

元山出帆

西湖津、新浦、城津、清津行	安平丸	三月二日後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行	安平丸	二月十九日後九時出

大連出帆

上海、基隆、打狗行	基隆丸	三月十一日後四時出
湖北丸	三月十四日前六時出

内地各港出帆主要航路

南米行	一年四回
北米行	毎月一回
濠洲行	毎月二回
孟買行	毎月二回
南洋行	毎月一回

御注意　◎外國航路ノ旅客ハ出帆時刻ノ五分前ニ乗船ヲ要ス ◎賃金ハ一時間前ニ出帆ス ◎乗船切符ハ一等客ニ限リ…

大阪商船株式會社仁川支店　電話二番
京城出張員所　内國通運會社　電話七〇番
仁川京城通り切符發賣所

朝鮮郵船

本社　電話…

○第二高運丸 / 咸鏡丸 / 京城丸 / 忠清丸	釜山より北鮮各港經由城津行	一月 日 元山發
○元山より北鮮各港經由城津行	琵琶丸 / 義城丸 / 京畿丸 / 忠清丸 / 高運丸	一月 日 元山發
○大阪行（釜山門司經由）	平壌丸	一月 日 釜山發
○元山ヨリ釜山馬門行	第二高運丸 / 京畿丸	二月 日 元山發
○元山ヨリ迎日湾各港經由釜山馬門行	咸鏡丸 / 忠清丸	一月 日 元山發
○濟州島行	瑞徳丸 / 登徳丸	一月 日 釜山發
○浦項行	江陵丸 / 襄陽丸	毎日 釜山發
○濟州島行	昌平丸	一月 日 釜山發
○濟州島行（西歸浦…）	公州丸 / 慶興丸	一月 日 木浦發
○釜山、麗水間	統營丸 / 海州丸	巨濟丸 毎日釜山發
○木浦巖泰島行	順天丸 / 南陽丸	三日目毎ニ 木浦發
○木浦ヨリ多島海沿岸各島行	慶興丸	二月 日 木浦發
○仁川木浦行（群山其他各港經由）	晋州丸 / 金海丸	二月 日 仁川發
○南鮮行（江華島喬桐島經由）	全州丸 / 南陽丸	毎日 仁川發
三十一日ハ休航　其他結氷ノ爲メ休航行ノ事アリ		
○青島行	江原丸	一月 日 仁川發
○済津行（大阪神戸門司より）		

日本郵船仁川出帆

○大連行、秦皇島行	相模丸 / 三河丸 / 高砂丸	二月十九日 / 二月廿八日 正午出

仁川本町 堀 組 回漕部